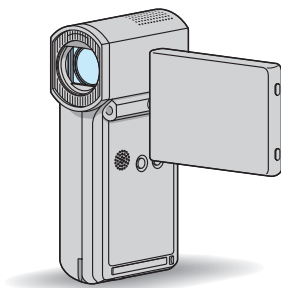
SONY®

3-288-518-03(1)

デジタルHDビデオカメラレコーダー

HANDYCAM®

ハンディカム ハンドブック

HDR-TG1

警告 **電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。**
この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

使用前に必ずお読みください

お買い上げいただきありがとうございます。

「ハンディカム ハンドブック」（本書）では

本機の詳細な活用方法を説明しています。

「取扱説明書」（別冊）もあわせてご覧ください。

本機で記録した画像をパソコンで扱う方法は

付属のCD-ROM収録の「Picture Motion Browser」をご覧ください。

本機で使える“メモリースティック”について

- 動画撮影時は、1GB以上の次のマークが付いた“メモリースティック PRO デュオ”の使用をおすすめします。
  - MEMORY STICK PRO DUO（“メモリースティック PRO デュオ”）*
  - MEMORY STICK PRO-HG DUO（“メモリースティック PRO-HG デュオ”）

  * Mark2 表示があるものとないもの両方使えます。
- “メモリースティック PRO デュオ” 1枚あたりの撮影可能時間は、10ページをご覧ください。
- 使用可能な“メモリースティック”の最新情報につきましてはホームページ上の「メモリースティック対応表」をご確認ください（最後のページ）。

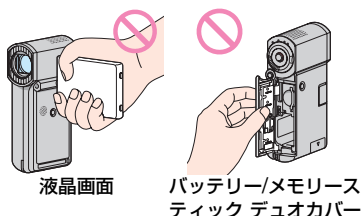
“メモリースティック PRO デュオ”/“メモリースティック PRO-HG デュオ”（本機で使用するサイズ）

“メモリースティック”（本機では使用できません）

- 本書では、“メモリースティック PRO デュオ”/“メモリースティック PRO-HG デュオ”を「“メモリースティック PRO デュオ”」と表現しています。
- 上記以外のメモリーカードは使用できません。
- “メモリースティック PRO デュオ”は“メモリースティック PRO”対応機器でのみ使用可能です。
- “メモリースティック PRO デュオ”本体およびメモリースティック デュオ アダプターにラベルなどは貼らないでください。
- “メモリースティック PRO デュオ”を“メモリースティック PRO”対応機器で使用する場合、“メモリースティック PRO デュオ”をメモリースティック デュオ アダプターに入れてからお使いください。

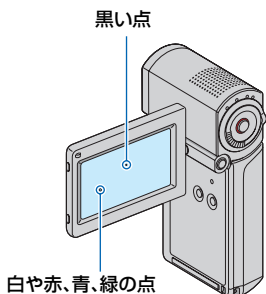
故障や破損の原因となるため、特にご注意ください。

- 次の部分をつかんで持たないでください。

液晶画面　　**バッテリー/メモリースティック デュオカバー**

- 本機は防じん、防滴、防水仕様ではありません。「本機の取り扱いについて」もご覧ください（91ページ）。
- 本機の（動画）ランプ/（静止画）ランプ（19ページ）やアクセスランプ（20ページ）、QUICK ONランプ（15ページ）が点灯、点滅中に次のことをすると、“メモリースティック PRO デュオ”が壊れたり、記録した映像が失われる場合があります。また、本機の故障の原因になります。
  - “メモリースティック PRO デュオ”を取り出す
  - 本機からバッテリーやACアダプターを取りはずす。
  - 本機に衝撃や振動を与える。
- USB接続時に液晶画面を閉じると、記録した映像が失われる場合があります。

- 本機をケーブル類で他機と接続するときは、端子の向きを確認してつないでください。無理に押し込むと端子部の破損、または本機の故障の原因になります。
- ACアダプターをハンディカムステーションから抜くときは、DCプラグとハンディカムステーションを持って取りはずしてください。
- 本機をハンディカムステーションに取り付けたり、取りはずすときは、必ず本機の電源を切ってください。

メニュー項目、液晶画面およびレンズについてのご注意

- 灰色で表示されるメニュー項目などは、その撮影/再生条件では使えません(同時に選べません)。
- 液晶画面は有効画素99.99%以上の非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現れたり、白や赤、青、緑の点が消えなかったりすることがあります。これは故障ではありません。これらの点は記録されません。

- 液晶画面やレンズを太陽に向けたままにすると故障の原因になります。
- 直接太陽を撮影しないでください。故障の原因になります。夕暮れ時の太陽など光量の少ない場合は撮影できます。

録画/録音に際してのご注意

- 事前にためし撮りをして、正常な録画/録音を確認してください。
- 万一、ビデオカメラレコーダーや記録メディアなどの不具合により記録や再生がされなかった場合、画像や音声などの記録内容の補償については、ご容赦ください。
- あなたがビデオで録画/録音したものは個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興業、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

画像が正しく記録/再生されないときは[メディア初期化]してください

- 長時間、画像の撮影/消去を繰り返していると、本機のメディア内のファイルが断片化(フラグメンテーション)されて、画像が正しく記録/保存できなくなる場合があります。このような場合は、画像を保存(43ページ)したあと、[メディア初期化](56ページ)を行ってください。

  フラグメンテーション☞用語集(100ページ)

他機での再生に際してのご注意

- 本機は、HD(ハイビジョン)画質の記録にMPEG-4 AVC/H.264のHigh Profileを採用しております。このため、本機でHD(ハイビジョン)画質で記録した映像は、次の機器では再生できません。
  - High Profileに対応していない他のAVCHD規格対応機器
  - AVCHD規格に対応していない機器

撮影した画像データは保存してください

- 万一のデータ破損に備えて、撮影した画像データを保存してください。画像データはパソコンなどを使ってDVD-Rなどのディスクに保存することをおすすめします(43ページ)。ビデオ、DVD/HDDレコーダーで画像データを保存することもできます(51ページ)。
- 撮影後は定期的に保存することをおすすめします。

“メモリースティック PRO デュオ”を廃棄/譲渡するときのご注意

本機やパソコンの機能による「フォーマット」や「削除」では、“メモリースティック PRO デュオ”内のデータは完全には消去されないことがあります。“メモリースティック PRO デュオ”を譲渡するときは、パソコンのデータ消去用ソフトなどを使ってデータを完全に消去することをおすすめします。また、“メモリースティック PRO デュオ”を廃棄するときは、“メモリースティック PRO デュオ”本体を物理的に破壊することをおすすめします。

本書について

- 画像の例としてスチルカメラによる写真を使っています。画像や本機の画面表示は、実際に見えるものと異なります。
- メディアやアクセサリーの仕様および外観は、予告なく変更することがあります。

カールツァイスレンズ搭載

本機はカール ツァイス レンズを搭載し、繊細な映像表現を可能にしました。本機用に生産されたレンズは、ドイツ カール ツァイスとソニーで共同開発した、MTF*測定システムを用いてその品質を管理され、カール ツァイス レンズとしての品質を維持しています。

モジュレーション トランスファー ファンクション
* Modulation Transfer Functionの略。コントラストの再現性を表す指標。被写体のある部分の光を、画像の対応する位置にどれだけ集められるかを表す数値。

目次

本機で楽しむために

準備する

撮る/見る

編集する

メディアを使いこなす

本機の設定を変える

困ったときは

その他

各部のなまえ・用語集・索引

「やりたいこと」から探す目次

ゴルフのスイングをチェックしたい

ゲレンデや浜辺できれいに撮りたい

動画撮影中に静止画も撮りたい

ステージ上の子供の顔がライトで白くなってしまう

花をアップでくっきり撮りたい

花火をきれいに撮りたい

画面左の犬にピントを合わせたい

暗い部屋で子供の寝顔をきれいに撮りたい

使いかたの流れ

▶準備する(14ページ)。

- 本機で使える"メモリースティック PRO デュオ"については、2ページをご覧ください。
- 本機は液晶画面を開くと電源が入ります(19ページ)。

▶撮影する(26ページ)。

■HD(ハイビジョン)画質で撮影する

- 本機は、AVCHD規格の「1920×1080/60i」に対応しており(88ページ)、高細密で美しい画像が撮影できます。

■液晶画面の開/閉でクイック オン

- 撮影スタンバイ/録画中に液晶画面を閉じるとスリープモードになり、次の撮影を始めるときに液晶画面を開くとすぐに撮影可能な状態になります(29ページ)。

ご注意

- お買い上げ時の設定は、AVCHD規格の「1440×1080/60i」の[HD SP]に設定されています。設定変更については60ページをご覧ください。
- SD(標準)画質でも撮影できます(55ページ)。
- 本書では、特に説明する場合を除き、AVCHD1080i方式のことを「AVCHD」と記載します。

▶本機で再生する。

■本機の液晶画面で見る(31ページ)。

■ハイビジョンテレビで楽しむ(38ページ)。

高精細で鮮やかなHD(ハイビジョン)画質で楽しめます。

ちょっと一言

- [テレビ接続ガイド]がテレビに合った接続方法をアドバイスします(37ページ)。
- SD(標準)画質のテレビでも再生できます。

▶AVCHD規格対応機器のメモリースティック スロットから再生する。

「プレイステーション 3」、VAIO*などのAVCHD規格対応機器のメモリースティック スロットに“メモリースティック PRO デュオ”を差し込んで再生できます。

* 付属のソフトウェア(Picture Motion Browser)の動作推奨環境を満たす 2006 年 1 月以降に発売された VAIO で動作確認済み。

- 「プレイステーション 3」のシステムソフトウェアは常に最新版にアップデートしてお使いください。アップデートの詳細は、株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントのウェブサイトをご覧ください。
- AVCHD規格対応機器でも、メモリースティック スロットから直接再生できない場合があります。

▶撮影した画像を保存する。

■他機につないでダビングする(51ページ)。

つなぐ機器によってダビングできる画質(HD(ハイビジョン)/SD(標準))が異なります。詳しくは51ページをご覧ください。

■パソコンで編集する(43ページ)。

画像をHD(ハイビジョン)画質でパソコンに取り込んだり、ディスクに保存できます。詳しくは「PMB ガイド」をご覧ください。

▶画像を削除する。

“メモリースティック PRO デュオ”がいっぱいになると、新しい画像を撮影できなくなります。パソコンやディスクに保存済みのデータは“メモリースティック PRO デュオ”から削除しましょう。削除してできた空き領域に再び画像を記録できます。

■画像を選んで削除する(45ページ)。

■すべての画像を削除する([メディア初期化]、56ページ)。

動画の撮影可能時間の目安

“メモリースティック PRO デュオ”の容量と、[録画モード](60ページ)の設定によって撮影可能時間は異なります。( )は最低録画時間です。

約 分

“メモリースティック PRO デュオ”の容量	1GB	2GB	4GB	8GB	16GB
HD(ハイビジョン)画質のとき AVCHD規格					
AVC HD 16M(FH) (最高画質)*	6 (6)	10 (10)	25 (25)	55 (55)	110 (110)
AVC HD 9M(HQ) (高画質)**	10 (9)	25 (20)	55 (40)	115 (80)	230 (160)
AVC HD 7M(SP) (標準画質)**	15 (10)	30 (20)	65 (45)	140 (100)	280 (200)
AVC HD 5M(LP) (長時間)**	20 (15)	40 (35)	85 (70)	180 (145)	355 (290)

* AVCHD 規格の 1920 × 1080/60i で撮影します。
** AVCHD 規格の 1440 × 1080/60i で撮影します。

“メモリースティック PRO デュオ”の容量	1GB	2GB	4GB	8GB	16GB
SD(標準)画質のとき MPEG2規格					
SD 9M(HQ) (高画質)	10 (10)	25 (25)	55 (50)	115 (100)	230 (205)
SD 6M(SP) (標準画質)	20 (10)	40 (25)	80 (50)	170 (100)	340 (205)
SD 3M(LP) (長時間)	35 (25)	80 (50)	160 (105)	325 (215)	655 (435)

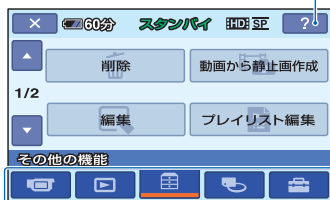
- ソニー製“メモリースティック PRO デュオ”使用時。

ちょっと一言

- 表の16Mなどの数値は、平均ビットレートです。「M」は「Mbps」のことです。
- 静止画の撮影枚数については64ページをご覧ください。
- 動画の撮影可能シーン数はHD(ハイビジョン)画質で最大3,999個、SD(標準)画質で9,999個です。

撮影シーンに合わせてビットレート(一定時間あたりの記録データ量)を自動調節するVBR(Variable Bit Rate)方式を採用しています。そのため、“メモリースティック PRO デュオ”への録画時間は変動します。たとえば、動きの速い映像は“メモリースティック PRO デュオ”の容量を多く使って鮮明な画像を記録するので、“メモリースティック PRO デュオ”の録画時間は短くなります。

「ホーム」と「オプション」
ー2種類のメニューで本機を使いこなす！

「ホームメニュー」は、操作の出発点

▶ホームメニューのカテゴリーと項目

（撮影）カテゴリー

項目	ページ
動画*	27
静止画*	27
なめらかスロー録画	29

（画像再生）カテゴリー

項目	ページ
V.インデックス*	31
インデックス*	34
インデックス*	34
プレイリスト	49

（その他の機能）カテゴリー

項目	ページ
削除*	45
動画から静止画作成	46
編集	47
プレイリスト編集	48
印刷	53
USB接続	44
テレビ接続ガイド*	37

（メディア管理）カテゴリー

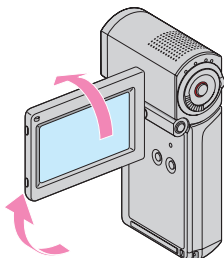
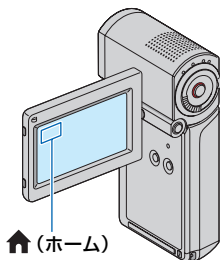
項目	ページ
HD/SD設定*	55
メディア情報	56
メディア初期化*	56
管理ファイル修復	57

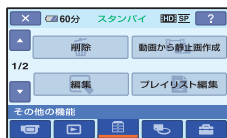
（設定）カテゴリー*

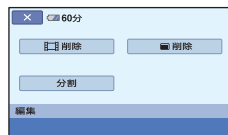
お買い上げ時の設定の変更など、さまざまな設定ができます（58ページ）。

* かんたん操作（22ページ）中も設定できます。
（設定）カテゴリーで使える項目について詳しくは、59ページをご覧ください。

ホームメニューの使いかた

1 液晶画面を開いて本機の電源を入れる。

2 (ホーム)をタッチする。

3 希望のカテゴリーをタッチする。

例)(その他の機能)カテゴリーのとき

4 希望の項目をタッチする。

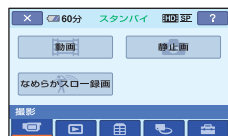
例)[編集]のとき

5 本機の表示にしたがって設定する。

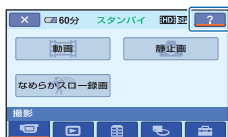
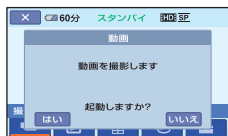
ホームメニュー画面を消すには

[×]をタッチする。

▶ホームメニューの説明を見る(ヘルプ)

1 (ホーム)をタッチする。

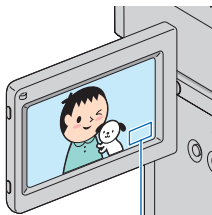
ホームメニューが表示されます。

2 [?](ヘルプ)をタッチする。

[?](ヘルプ)の下辺がオレンジ色に変わります。

3 **内容を知りたい項目をタッチする。**

タッチした項目の内容が表示されます。
その項目を実行するには[はい]、実行しないときには[いいえ]をタッチしてください。

ヘルプを解除するには

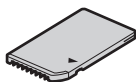
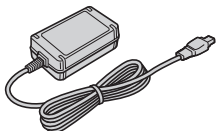
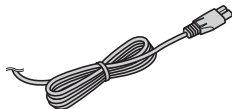
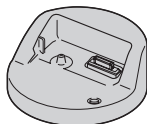
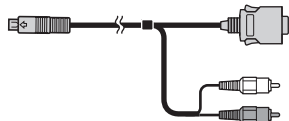
手順**2**で[?](ヘルプ)をもう一度タッチする。

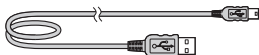
オプションメニューを使うには

撮影、再生中など、その状況で使える機能を表示して、気軽に設定できます。詳しくは70ページをご覧ください。

(オプション)

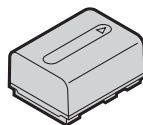
準備1:付属品を確かめる

箱を開けたら、付属品がそろっているか確認してください。万一、不足の場合はお買い上げ店にご相談ください。
(　)内は個数。

“メモリースティック PRO デュオ”8GB(1)(20ページ)

ACアダプター(1)(15ページ)

電源コード (1)(15ページ)

ハンディカムステーション(1)(15ページ)

D端子A/Vケーブル(1)(38ページ)

A/V接続ケーブル (1)(38、51ページ)

USBケーブル(長)(1)/
USBケーブル(短)(1)(52、53ページ)

専用USB端子アダプター(1)/
USBアダプターキャップ(1)(96ページ)

あらかじめ、USBケーブル(短)に取り付けられた状態で同梱されています。

リチャージャブルバッテリーパック NP-FH50(1)(15ページ)

リストストラップ(1)(96ページ)

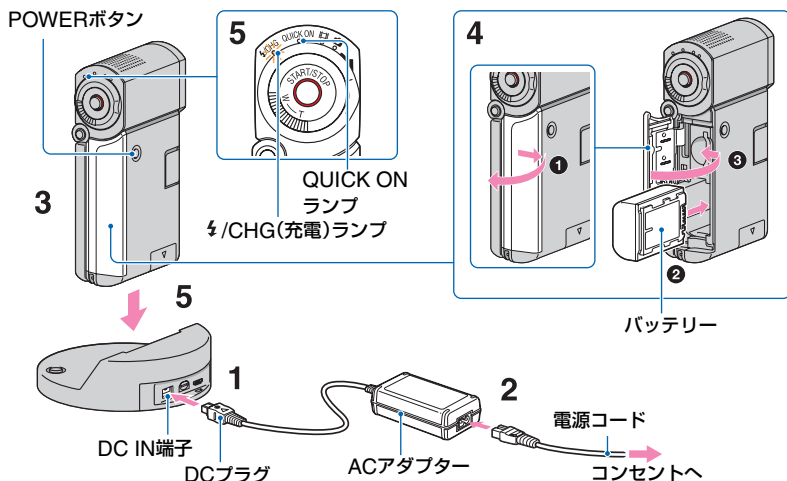
CD-ROM「Handycam Application Software」(1)

- 「Picture Motion Browser」(ソフトウェア)
- 「PMB ガイド」
- 「ハンディカム ハンドブック」(本書)

取扱説明書 (1)

保証書 (1)

準備2：バッテリーを充電する

準備する

専用の"インフォリチウム"バッテリーNP-FH50（90ページ）を本機に取り付けて充電します。

ご注意

- "インフォリチウム"バッテリーNP-FH50以外は使えません。

1 DCプラグの▲マークを上にして、ハンディカムステーションのDC IN端子につなぐ。

2 電源コードをACアダプターとコンセントにつなぐ。

3 液晶画面を閉じた状態にする。

4 バッテリーを入れる。

❶ バッテリー/メモリースティック デュオカバーを開ける。

❷ バッテリーを「カチッ」というまで押し込む。

❸ バッテリー/メモリースティック デュオカバーを閉じる。

5 本機をハンディカムステーションに図の向きで奥まで確実に取り付ける。

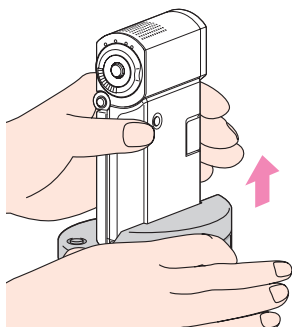
⚡/CHG（充電）ランプが点灯し、充電が始まります。⚡/CHG（充電）ランプが消えると、充電が終了します。

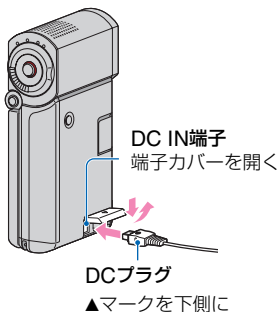
ご注意

- QUICK ONランプが点滅しているときは充電できません。QUICK ONランプが点滅している場合は、POWERボタンを押して電源を切り、QUICK ONランプが点滅していないことを確認してから充電してください。

- 本機をハンディカムステーションに取り付けるときは、本機のDC IN端子のカバーを閉じてください。
- ACアダプターを抜くときは、ハンディカムステーションとDCプラグを持って抜いてください。

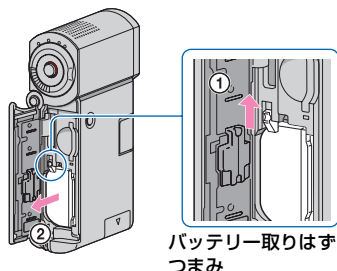
本機をハンディカムステーションから取りはずすには

液晶画面を閉じて、本機とハンディカムステーションを持って取りはずす。

ACアダプターのみで充電するには

液晶画面を閉じて電源を切った状態で、本機のDC IN端子に直接ACアダプターをつないで充電する。

ご注意

- ACアダプターを抜くときは、本機とDCプラグを持って抜いてください。

バッテリーを取りはずすには

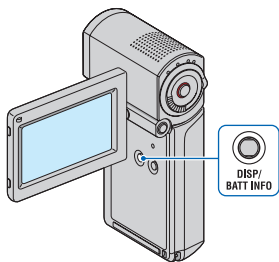
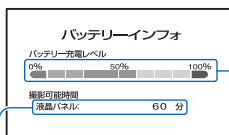
電源を切り、バッテリー/メモリースティック デュオカバーを開ける。
バッテリー取りはずしつまみをずらして、バッテリーを取り出す。
バッテリーが落下しないようにご注意ください。

ご注意

- バッテリーやACアダプターは、本機の（動画）ランプ/（静止画）ランプ（19ページ）やアクセスランプ（20ページ）、QUICK ONランプが点灯、点滅していないことを確認してから取りはずしてください。
- 長い時間使わないときは、バッテリーを使い切ってから保管してください（91ページ）。

コンセントからの電源で使うには

充電するときと同じ接続で使う。
バッテリーを入れたままでもバッテリーは消耗しません。

バッテリーの残量を確認するには

液晶画面を開いてからPOWERボタンを押して電源を切り、DISP/BATT INFOボタンを押す。

しばらくすると、バッテリーの情報が約7秒間表示されます。情報が表示されている間にボタンを押すと、20秒まで表示を延長できます。

バッテリーでの充電/撮影/再生時間

充電時間:バッテリーを使い切った状態からのおよその時間
撮影/再生時間:満充電からのおよその時間
「HD」はハイビジョン画質、「SD」は標準画質を表しています。

(単位:分)

	HD	SD
充電時間(満充電)	135	
撮影可能時間*1*2		
連続撮影時	95	120
実撮影時*3	45	60
再生可能時間*2	130	145

*1録画モード:[SP]のとき
*2液晶画面バックライト:[入]のとき
*3実撮影時とは、録画スタンバイ、(動画)/(静止画)切り換えスイッチの切り換え、ズームなどを繰り返したときの時間です。

バッテリーについて

- バッテリーの交換は、電源を切って(動画)ランプ/(静止画)ランプ(19ページ)やアクセスランプ(20ページ)、QUICK ONランプが消えてから行ってください。
- 次のとき、充電中の/CHG(充電)ランプが点滅したり、バッテリーインフォ(16ページ)が正しく表示されないことがあります。
  – バッテリーを正しく入れていないとき
  – バッテリーが故障しているとき
  – バッテリーが劣化しているとき(バッテリーインフォ表示のみ)
- 電源コードをコンセントから抜いても、ACアダプターが本機やハンディカムステーションのDC IN端子につながれている限り、バッテリーからは電源供給されません。

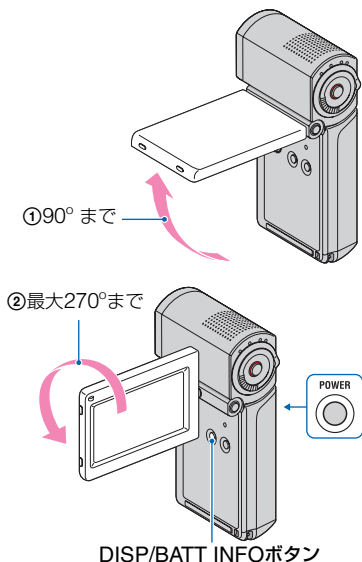
充電/撮影/再生可能時間について

- 25℃(10〜30℃が推奨)で使用したときの時間です。
- 低温の場所で使うと、撮影/再生可能時間はそれぞれ短くなります。
- 使用状態によって、撮影/再生可能時間が短くなります。

ACアダプターについて

- ACアダプターは手近なコンセントを使用してください。本機を使用中、不具合が生じたときはすぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。
- ACアダプターを壁との隙間などの狭い場所に設置して使用しないでください。
- ACアダプターのDCプラグやバッテリー端子を金属類でショートさせないでください。故障の原因になります。

準備3：電源を入れて、液晶画面を調節する

本機は液晶画面を開くと電源が入ります。

1 液晶画面を開く。

電源が入ります。
液晶画面が開いた状態から電源を入れるときは、液晶画面を閉じてからもう一度開くか、液晶画面を開いたままPOWERボタンを押す。

2 液晶画面を調節する。

液晶画面を垂直に90°まで開き（①）、見やすい角度に調節する（②）。

液晶画面バックライトを消してバッテリーを長持ちさせるには

DISP/BATT INFOボタンを が表示されるまで数秒間押したままにする。
明るい場所で使うときや、バッテリーを長持ちさせるときに効果的です。録画される画像に影響はありません。
解除するには、 が消えるまでDISP/BATT INFOボタンを押したままにします。

電源を切るには

撮影スタンバイ/録画中は、液晶画面を閉じて、POWERボタンを押す。
それ以外のときは、液晶画面を閉じる、またはPOWERボタンを押す。

ご注意

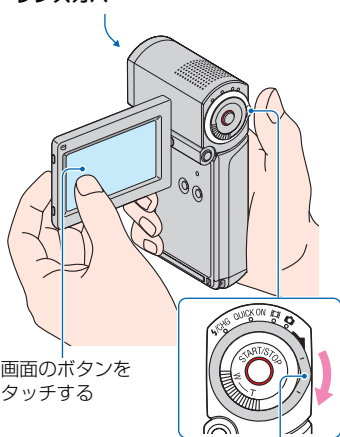
- **3か月**近く使わないでおくと、内蔵の充電式電池が放電して、日付、時刻の設定が解除されます。内蔵の充電式電池を充電してから設定し直してください（93ページ）。
- 電源を入れてから撮影が可能になるまで数秒かかります。その間、本機の操作はできません。
- 本機の電源を入れると自動的にレンズカバーが開きます。再生画面に切り換えたり、電源を切ったりすると閉まります。
- お買い上げ時は、電源を入れて何もしない状態が約5分続くと、バッテリー消耗防止のため、自動的に電源が切れます（[自動電源オフ]、68ページ）。

ちょっと一言

- 液晶画面を180°回転させたまま、外側に向けて本体に収められます。本機で画像を再生するときに便利です。
- 液晶画面の明るさは、 （ホーム）→ （設定）→[音/画面設定]→[パネル明るさ]（66ページ）で調節できます。
- DISP/BATT INFOボタンを押すたびに、バッテリー残量などの情報が表示↔非表示と切り替わります。

準備4：日付時刻を合わせる

初めて電源を入れたときは日付、時刻を設定してください。設定しないと、電源を入れたり、（動画）/（静止画）切り換えスイッチを切り換えるたびに[日時あわせ]が表示されます。

レンズカバー

画面のボタンをタッチする

（動画）/（静止画）切り換えスイッチ

1 液晶画面を開いて、電源を入れる。

2 （動画）/（静止画）切り換えスイッチを矢印の方向に繰り返しずらして、使用するモードのランプを点灯させる。

（動画）：動画を撮影するとき

（静止画）：静止画を撮影するとき

初めて電源を入れたときは、手順**4**にすすむ。

3 （ホーム）→（設定）→[時計設定]→[日時あわせ]をタッチする。

[日時あわせ]画面が表示されます。

4 ▲/▼でエリアを選び、[次へ]をタッチする。

5 サマータイムを設定し、[次へ]をタッチする。

日本国内で使用するときは[切]を選ぶ。

6 ▲/▼で[年]を合わせる。

7 ◀/▶で[月]に移動し、▲/▼で合わせる。

8 同様に[日]、時、分を合わせ、[次へ]をタッチする。

9 **設定された日付時刻を確認し、OKをタッチする。**

設定した日時から時計が動き始めます。
2037年まで設定できます。
真夜中は12:00AM、正午は12:00PMです。

ちょっと一言

- 日付時刻は撮影時には表示されません。自動的に“メモリースティック PRO デュオ”に記録され、再生時に表示させることができます（[日時/データ表示]、65ページ）。
- 世界時刻表は86ページをご覧ください。
- サマータイムとは、夏の一定期間、日照時間を有効に使うために時計を標準時間より進める制度で、欧米諸国では広く採用されています。本機で[サマータイム]を[入]にすると、時計が1時間進みます。
- 反応するボタンがずれていると感じるときは、タッチパネルの調節（キャリブレーション）をしてください（92ページ）。

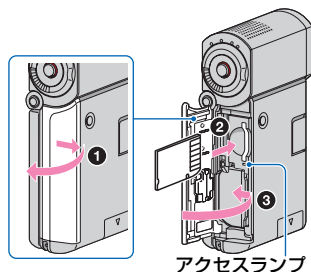
準備5：“メモリースティック PRO デュオ”を入れる

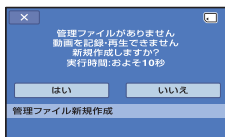
本機で使える“メモリースティック”については、2ページをご覧ください。

ちょっと一言

- 撮影可能時間/枚数については、以下のページをご覧ください。
  – 動画（10ページ）
  – 静止画（64ページ）

1 **“メモリースティック PRO デュオ”を入れる。**

❶ バッテリー/メモリースティック デュオカバーを開ける。
❷ “メモリースティック PRO デュオ”を正しい向きに、「カチッ」というまで押し込む。
❸ バッテリー/メモリースティック デュオカバーを閉じる。

2 **液晶画面を開いて、（動画）ランプを点灯させる。**

新しい“メモリースティックPRO デュオ”を入れたときは、液晶画面に[管理ファイル新規作成]画面が表示されます。

3 [はい]をタッチする。

“メモリースティック PRO デュオ”を取り出すには

バッテリー/メモリースティック デュオカバーを開き、“メモリースティック PRO デュオ”を軽く1回押して取り出す。

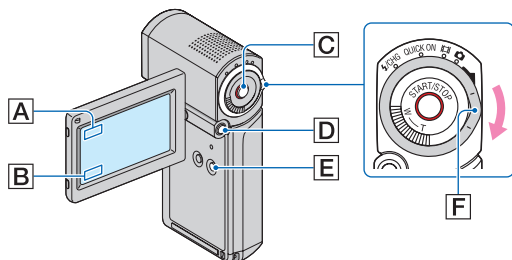
ご注意

- 本機の (動画)ランプ/ (静止画)ランプ(19ページ)やアクセスランプ、QUICK ONランプ(15ページ)が点灯、点滅中に次のことをすると、“メモリースティック PRO デュオ”が壊れたり、記録した映像が失われる場合があります。また本機の故障の原因になります。
  – “メモリースティック PRO デュオ”を取り出す。
  – バッテリーやACアダプターを取りはずす。
  – 本機に振動や強い衝撃を与える。
- 撮影中にバッテリー/メモリースティック デュオカバーを開けないでください。
- 誤った向きで無理に入れると、“メモリースティック PRO デュオ”やメモリースティック デュオ スロット、画像データが破損することがあります。
- 手順**3**で[管理ファイルを新規作成できませんでした　空き容量がたりない可能性があります]と表示されたときは、“メモリースティック PRO デュオ”を初期化してください(56ページ)。初期化すると“メモリースティック PRO デュオ”に記録してあるデータはすべて消去されますので、ご注意ください。
- 出し入れ時には“メモリースティック PRO デュオ”の飛び出しにご注意ください。

ちょっと一言

- 静止画は管理ファイルを新規作成しなくても撮影できます。

かんたんに撮って見る（EASYかんたん操作）

ほとんどの設定を自動でするので、細かい設定をしないで簡単に撮影、再生できます。また、文字も大きく見やすくなります。

動画を撮る

1 液晶画面を開いて、（動画）ランプを点灯させる。

2 EASYボタンEを押す。

EASYが液晶画面に表示されます。

3 START/STOPボタンCを押して撮影を開始する。*

［スタンバイ］→［● 録画］

もう一度押すと、録画ストップ。

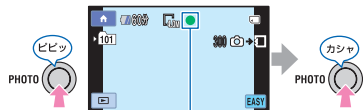
静止画を撮る

1 液晶画面を開く。

2 （動画）/（静止画）切り換えスイッチFを矢印の方向にずらして（静止画）ランプを点灯させる。

3 EASYボタンEを押す。

EASYが液晶画面に表示されます。

4 PHOTOボタンDを押して撮影する。

軽く押してピント合わせ　点滅→点灯　深く押して撮影

* ［録画モード］（60 ページ）は［HD SP］または［SD SP］で記録されます。

ご注意

- 撮影中に液晶画面を閉じると、録画が止まります。

ちょっと一言

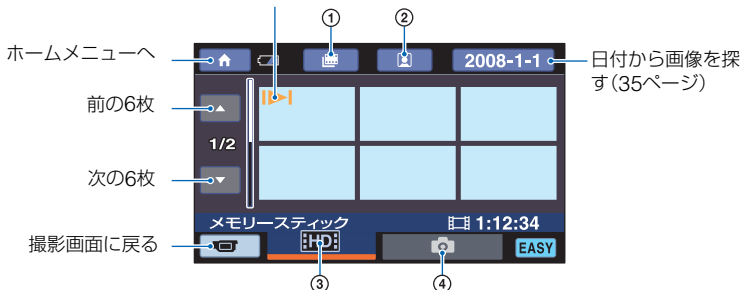
- かんたん操作中は、顔の部分に枠が表示される設定になります（[顔検出]、63ページ）。

撮影した動画/静止画を見る

撮る/見る

1 液晶画面を開いて電源を入れる。

2 (画像再生) B をタッチする。

ビジュアルインデックス画面が表示されます（数秒かかります）。

① :フィルムロールインデックス画面を表示する（34ページ）

② :フェイスインデックス画面を表示する（34ページ）

③ HD:動画を表示する*

④ :静止画を表示する

* SD（標準）画質のときは、SDが表示されます。再生する画質を切り換えるには、（ホーム）→（メディア管理）→[HD/SD設定]をタッチしてください。

3 再生を始める。

動画のときは：

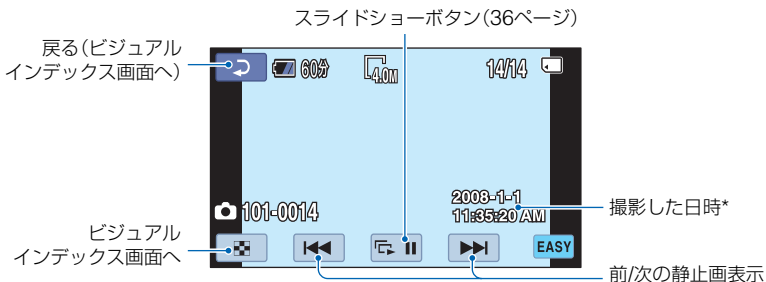
HDまたはSDタブをタッチして、見たい画像をタッチする。

* [日時 / データ表示]は[日付時刻データ]に固定されます(65 ページ)。

ちょっと一言

- 選んだ動画から最後の動画まで再生されると、ビジュアルインデックス画面に戻ります。
- 一時停止中に◀Ⅰ⏪/⏩Ⅰ▶をタッチするとスロー再生が始まります。
- 動画の音量は、🏠(ホーム)A→🧰(設定)→[音設定]→[音量]をタッチし、[−]/[+]で調節します。
- 再生する動画の画質を切り換えるには、[HD/SD設定](55ページ)で画質を選択してください。

静止画のときは:

📷タブをタッチして、見たい画像をタッチする。

* [日時 / データ表示]は[日付時刻データ]に固定されます(65 ページ)。

ご注意

- インデックス画面が表示されているときや画像を再生中に液晶画面を閉じると、本機の電源が切れます。

かんたん操作をやめるには

EASYボタン[E]をもう一度押す。液晶画面の[EASY]表示が消えます。

かんたん操作中のメニュー設定

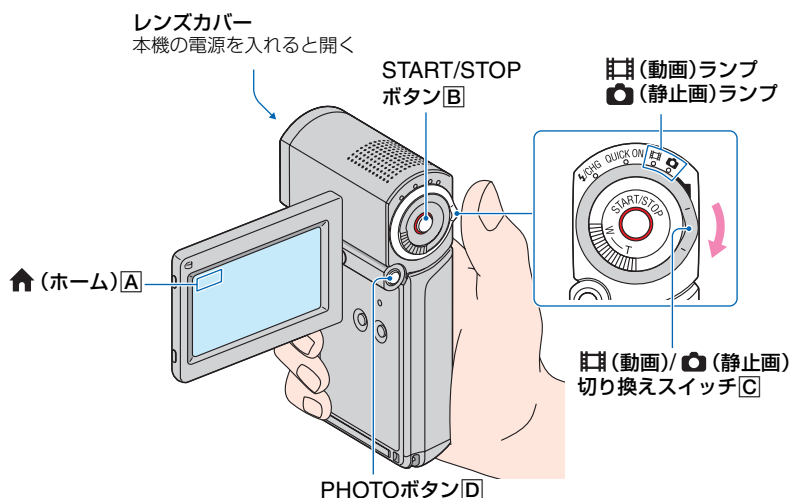
(ホーム)[A]をタッチすると設定可能なメニューが表示されます（11、59ページ）。

ご注意

- ほとんどのメニュー項目はお買い上げ時の設定に自動で戻ります。
- (オプション)メニューは使えません。
- 画像に効果を加えたり、いろいろな設定をしたいときはかんたん操作を解除してください。

かんたん操作中は使えない機能

ほとんどの機能は自動設定されるため、使えない機能があります（76ページ）。

撮る

ご注意

- アクセスランプ点灯中、または点滅中は撮影したデータを“メモリースティック PRO デュオ”に書き込み中です。本機に衝撃や振動を与えたり、バッテリーやACアダプターを取りはずたりしないでください。
- 撮影中の動画のファイルサイズが2GBを超えると、自動的に次のファイルが生成されます。
- 撮影中に液晶画面を閉じると、録画が止まります。

ちょっと一言

- 本機で使える“メモリースティック”については、2ページをご覧ください。
- “メモリースティック PRO デュオ”の撮影可能時間や空き容量などを確認するには、(ホーム)A→ (メディア管理)→[メディア情報]をタッチします(56ページ)。
- お買い上げ時はHD(ハイビジョン)画質で撮影するように設定されています(55ページ)。
- 動画の撮影可能時間は10ページ、静止画の撮影可能枚数は64ページをご覧ください。
- 動画撮影中にPHOTOボタンDを押すと、静止画を撮影できます([デュアル記録]、29ページ)。
- 人物の顔を検出すると枠が表示され、顔部分の画質が自動的に調節されます([顔検出]、63ページ)。
- 動画撮影中に顔画像を検出すると、 が点滅してインデックスに登録されます。再生時に、顔画像から見たい場面を探すことができます(フェイスインデックス、34ページ)。
- 記録した動画から静止画を作成できます(46ページ)。
- (ホーム)A→ (撮影)→[動画]または[静止画]をタッチして、撮影モードを切り換えることもできます。

動画を撮る

1 液晶画面を開いて、（動画）ランプを点灯させる。

2 START/STOPボタンBを押す。

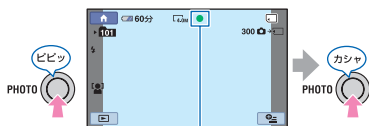
[スタンバイ]→[●録画]

撮影をやめるときは、START/STOPボタンBをもう一度押す。

静止画を撮る

1 液晶画面を開く。

2 （動画）/（静止画）切り換えスイッチCを矢印の方向にずらして、（静止画）ランプを点灯させる。

3 PHOTOボタンDを押す。

軽く押して
ピント合わせ

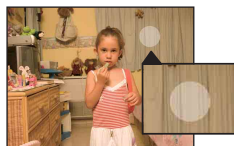
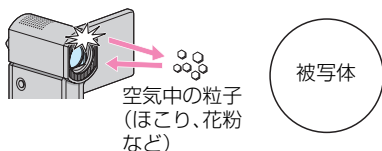
点滅→点灯

深く押して
撮影

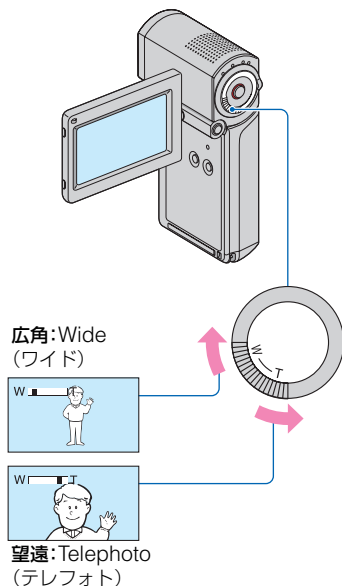
の横にが表示されます。が消えると記録が完了します。

静止画に白く丸い点が写る

レンズの近くに浮かんでいるほこりや花粉などがフラッシュに反射して、白く丸い点のように撮影されてしまうことがあります。

空気中の粒子
（ほこり、花粉など）

軽減するには、撮影環境を明るくし、フラッシュなしで撮影してください。

ズームする

10倍までズームできます。
倍率はズームレバーで調整します。

ズームレバーを軽く動かすとゆっくり、さらに動かすと速くズームします。

ご注意

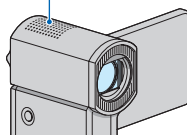
- ズームレバーから急に指を離すと操作音が記録される場合があるのでご注意ください。
- ピント合わせに必要な被写体との距離は、広角は約1cm以上、望遠は約80cm以上です。

ちょっと一言

- ［デジタルズーム］（61ページ）を使うと、10倍を超えたズームを使えます。

臨場感のある音で記録する（5.1chサラウンド記録）

内蔵マイクでドルビーデジタル5.1chサラウンドの音声を記録できます。5.1chサラウンドに対応した機器で再生すると、臨場感あふれる音を楽しめます。

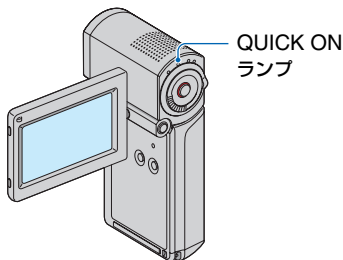
DOLBY DIGITAL 5.1 CREATOR

5.1chサラウンド音声、ドルビーデジタル5.1クリエーター☞用語集（100ページ）へ

ご注意

- 本機で5.1ch音声を再生すると、2chに変換されて出力されます。
- HD（ハイビジョン）画質で記録した動画を他機で再生して5.1chサラウンドを楽しむには、5.1chサラウンドに対応したAVCHD規格対応機器が必要です（88ページ）。
- HDMIケーブル（別売り）で接続すると、5.1ch音声で記録したHD（ハイビジョン）画質の動画は、自動的に5.1ch音声で出力されます。SD（標準）画質の動画は、2ch音声に変換して出力されます。

ちょっと一言

- 記録する音声を［5.1chサラウンド］（♪5.1ch）/［2chステレオ］（♪2ch）から選択できます（［オーディオモード］、60ページ）。

すばやく撮影を始める（クイック オン）

電源を切るかわりに液晶画面を閉じると、消費電力を抑えた状態（スリープモード）になります。スリープモード中は、QUICK ONランプが点滅します。次の撮影を始めるときにもう一度液晶画面を開くと、約1秒で撮影可能な状態になります。

ちょっと一言

- スリープモード中は撮影時と比較して約半分の消費電力となり、バッテリーの消耗を抑えられます。
- スリープモード中に操作をしない状態が続くと、自動的に電源が切れます。［クイック オン時間］（69ページ）で、スリープモード中に電源が切れるまでの時間を設定できます。
- ［なめらかスロー録画］（29ページ）のときに液晶画面を閉じると、スリープモードにはならずに電源が切れます。

動画撮影中に高画素の静止画を記録する（デュアル記録）

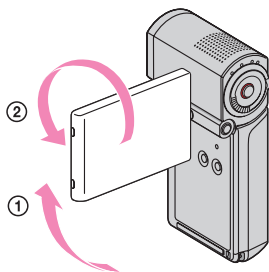
動画撮影中にPHOTOボタンを押すと、高画素の静止画を撮影できます。

ご注意

- 動画撮影が終了しても、静止画記録が完了するまで本機から"メモリースティック PRO デュオ"を取り出さないでください。
- 動画撮影中はフラッシュ撮影はできません。
- "メモリースティック PRO デュオ"の容量が不足したときや、連続して静止画を撮影したときなどに、が表示されることがあります。
が表示されている間は撮影できません。

ちょっと一言

- （動画）ランプ点灯時、静止画の画像サイズは［ 2.3M］（16:9）または［1.7M］（4:3）になります。
- 撮影スタンバイ中は（静止画）ランプ点灯時と同様に静止画を記録できます。フラッシュ撮影も可能です。

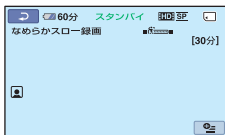
自分撮り（対面撮影）する

液晶画面を90°まで開いてから（①）、レンズ側に270°回す（②）。

ちょっと一言

- 液晶画面には左右反転で映りますが、実際には左右正しく録画されます。
- 対面撮影中は、顔の部分に枠は表示されません（63ページ）。

速い動作をスローモーションで記録する（なめらかスロー録画）

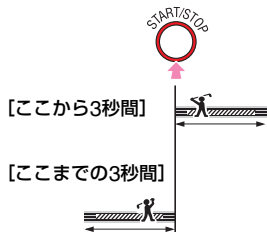
通常撮影では見ることができない高速な動作、現象を、なめらかなスローモーション映像として撮影します。ゴルフ、テニスのスイングなどの速い動きの撮影時に便利です。

① （ホーム）→ （撮影）→［なめらかスロー録画］をタッチする。

② START/STOPボタンを押す。
約3秒間の録画が、約12秒間のスローモーション映像として記録されます。［録画中］が消えると記録が完了します。

解除するには、 をタッチする。

設定を変更するには

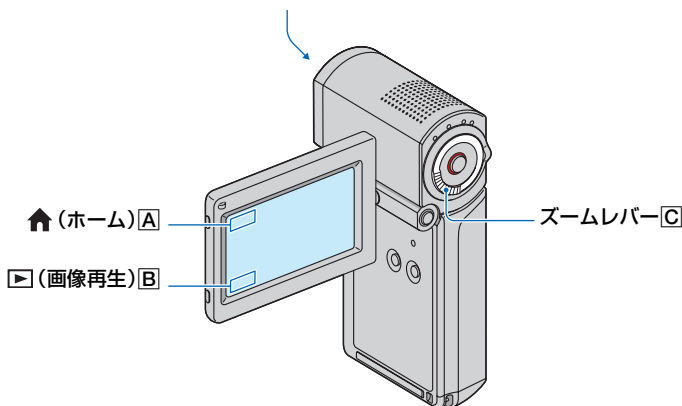
（オプション）→ タブをタッチして変更したい設定を選ぶ。

- ［タイミング］
  START/STOPボタンを押してから記録を開始するタイミングを選択する（お買い上げ時の設定は［ここから3秒間］）。

- ［音声記録］
  ［入］（ ）にすると、スローモーション映像に会話などを追加記録できる（お買い上げ時の設定は［切］）。
  手順②で［録画中］が表示されている約12秒間に録音する。

ご注意

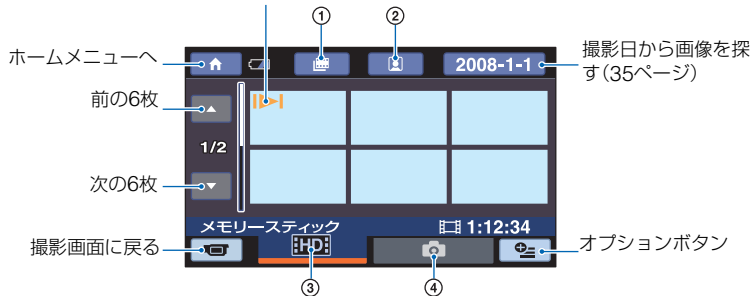
- 撮影中の約3秒間には音声を記録できません。
- ［なめらかスロー録画］の画質は、通常撮影時より劣化します。
- かんたん操作中は［なめらかスロー録画］を実行できません。かんたん操作を解除してください。

見る

ご注意

- インデックス画面が表示されているときや画像を再生中に液晶画面を閉じると、本機の電源が切れます。

1 液晶画面を開いて電源を入れる。

2 （画像再生）Bをタッチする。

ビジュアルインデックス画面が表示されます（数秒かかります）。

① :フィルムロールインデックス画面を表示する(34ページ)
② :フェイスインデックス画面を表示する(34ページ)
③ HD:動画を表示する*
④ :静止画を表示する

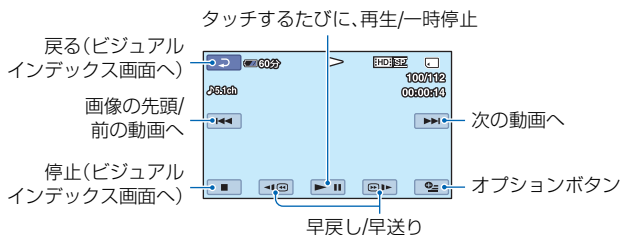
* SD(標準)画質のときは、SDが表示されます。再生する画質を切り換えるには、(ホーム)→(メディア管理)→[HD/SD設定]をタッチしてください。

ちょっと一言

- ズームレバーCを動かすと、ビジュアルインデックス画面の表示枚数が6枚↔12枚と切り替わります。(ホーム)A→(設定)→[画像再生設定]→[表示枚数]でビジュアルインデックスに表示させる枚数を固定できます(65ページ)。

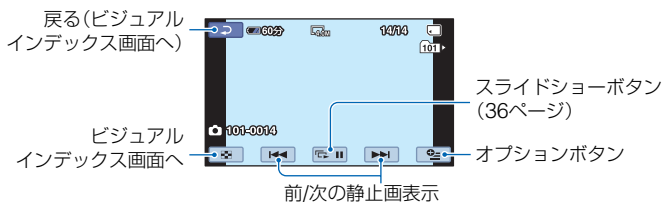
3 再生を始める。

動画を見る

HD、またはSDタブをタッチして、見たい画像をタッチする。

ちょっと一言

- 選んだ動画から最後の動画まで再生されると、ビジュアルインデックス画面に戻ります。
- 一時停止中に / をタッチすると、スロー再生が始まります。
- / ボタンは1度タッチすると約5倍速、2度タッチすると約10倍速、3度タッチすると約30倍速、4度タッチすると約60倍速で動作します。

静止画を見る

ビジュアルインデックス画面で 📷 タブをタッチして、見たい画像をタッチする。

動画の音量を調整するには

（オプション）→ ▶ タブ→［音量］をタッチし、[−]/[+] をタッチして調節する。

ちょっと一言

- 🏠（ホーム）A→ ▶（画像再生）→［V.インデックス］をタッチして、ビジュアルインデックス画面に切り換えることもできます。

撮る/見る

ピンポイントで見たい場面を探す（フィルムロールインデックス）

撮影した動画を時間間隔で区切ったものがインデックス画面で表示されます。選んだ場面から動画を再生できます。

1 **本機の電源を入れて、▶（画像再生）をタッチする。**

ビジュアルインデックス画面が表示されます。

2 **（フィルムロールインデックス）をタッチする。**

ビジュアルインデックス画面に戻る

表示する間隔を設定

3 **▲/▼をタッチして、見たい動画を選ぶ。**

4 **◀/▶をタッチして表示された場面の中から、再生したい場面をタッチする。**

選んだ場面から再生されます。

ちょっと一言

- （ホーム）→▶（画像再生）→[インデックス]をタッチしてフィルムロールインデックスで見ることもできます。

顔画像から見たい場面を探す（フェイスインデックス）

撮影時に検出した人物の顔画像がインデックス画面で表示されます。選んだ顔画像の場面から動画を再生できます。

1 **本機の電源を入れて、▶（画像再生）をタッチする。**

ビジュアルインデックス画面が表示されます。

2 **（フェイスインデックス）をタッチする。**

ビジュアルインデックス画面に戻る

3 **▲/▼をタッチして、見たい動画を選ぶ。**

4 **◀/▶をタッチして、再生したい場面の顔画像をタッチする。**

選んだ顔画像の場面から再生されます。

ご注意

- 撮影状況によっては顔が検出されない場合があります。
  例：メガネや帽子で顔が隠れている場合や正面を向いていない場合など

• フェイスインデックス画面から動画を探すには、[インデックス設定]をあらかじめ[入](お買い上げ時の設定)にして撮影してください(63ページ)。撮影中は、が点滅して顔画像がフェイスインデックスに登録されるのを確認してください。

ちょっと一言
• (ホーム)→(画像再生)→[インデックス]をタッチしてフェイスインデックスで見ることもできます。

撮影日から画像を探す(日付インデックス)

撮影日から効率よく動画を探すことができます。

ご注意
• 日付インデックスは、静止画では使えません。

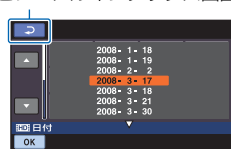
1 **本機の電源を入れて、(画像再生)をタッチする。**

ビジュアルインデックス画面が表示されます。

2 **HD、またはSDタブをタッチする。**

3 **液晶画面上の日付表示をタッチする。**

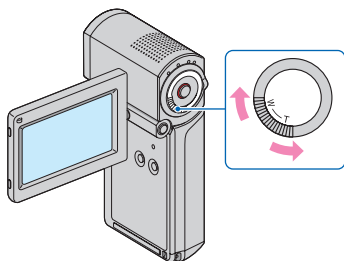
動画の撮影日が表示されます。

ビジュアルインデックス画面に戻る

4 **/をタッチして、見たい動画の撮影日を選んで、OKをタッチする。**

選んだ日付に撮影した動画が表示されます。

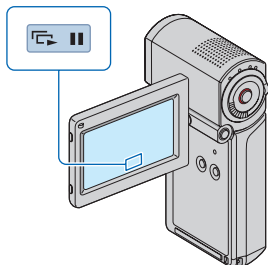
ちょっと一言
• フィルムロールインデックス画面やフェイスインデックス画面でも手順**3**～**4**の操作で日付インデックスが使えます。

再生ズームする

静止画を1.1～5倍の範囲でズームできます。
倍率はズームレバーで調整します。

① 拡大したい静止画を表示する。
② T(望遠)で静止画を拡大する。
画面に枠が表示されます。
③ 画面中央に表示したい部分をタッチする。
タッチした部分が画面中央に移動します。
④ W(広角)/T(望遠)で静止画の大きさを調節する。

終了するには、をタッチする。

テレビにつないで見る

静止画を連続再生する（スライドショー）

静止画再生画面で、[アイコン]をタッチする。
選んだ静止画からスライドショーが始まります。
中止するには、[アイコン]をタッチする。
再開するときは、もう一度[アイコン]をタッチする。

ご注意

- スライドショー再生中に再生ズームは使えません。

ちょっと一言

- ビジュアルインデックス画面の[アイコン]（オプション）→[アイコン]タブ→［スライドショー］でスライドショーを再生することもできます。
- [アイコン]（オプション）→[アイコン]タブ→［スライドショー設定］で、スライドショーの繰り返し再生を設定できます（お買い上げ時は［入］）。

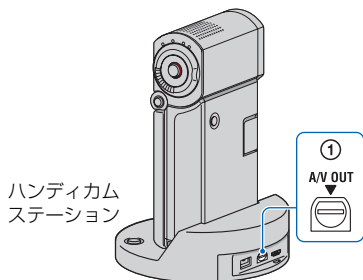
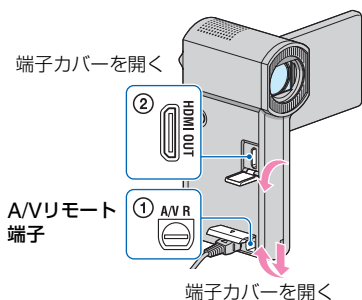
テレビの種類や接続する端子によって接続方法やテレビに映る画質（HD（ハイビジョン）/SD（標準））が異なります。
電源は、付属のACアダプターを使ってコンセントからとってください（15ページ）。また、つなぐ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

ご注意

- x.v.Colorに対応したテレビで見るときは、あらかじめ［X.V.COLOR］を［入］にして撮影してください（61ページ）。再生時には、テレビ側の設定が必要になる場合があります。詳しくはテレビの取扱説明書をご確認ください。

操作の流れ

本機の液晶画面でテレビとの接続方法を確認できる［テレビ接続ガイド］を使うと、簡単に接続できます。

テレビの入力設定を切り換える。
詳しくは、つなぐ機器の取扱説明書をご覧ください。
↓
［テレビ接続ガイド］に従って、本機とテレビを接続する。
↓
必要な出力設定を行う（38、39ページ）。

ご注意

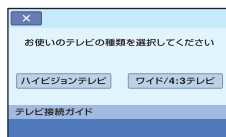
- A/Vリモート端子またはA/V OUT端子は本機およびハンディカムステーションにそれぞれ装備されています（95、97ページ）。A/V接続ケーブルやD端子A/Vケーブルはハンディカムステーションまたは本機のどちらかに接続してください。

最適な接続方法を選ぶ（テレビ接続ガイド）

お使いのテレビに合った接続方法を本機がアドバイスします。

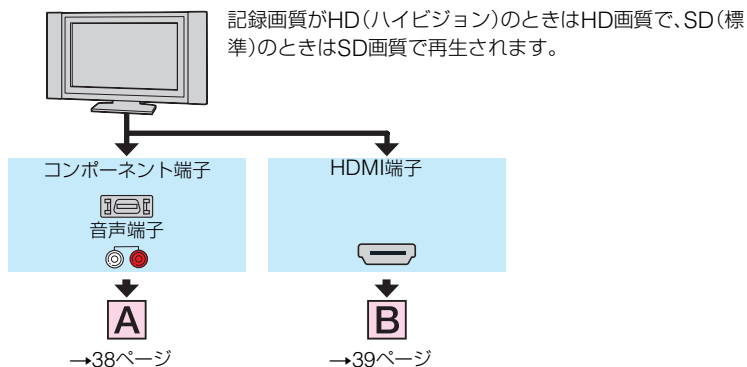
1 液晶画面を開いて本機の電源を入れ、（ホーム）→（その他の機能）→[テレビ接続ガイド]をタッチする。

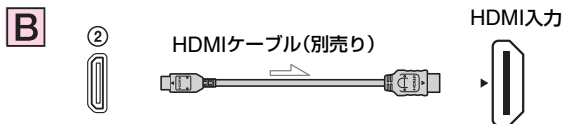
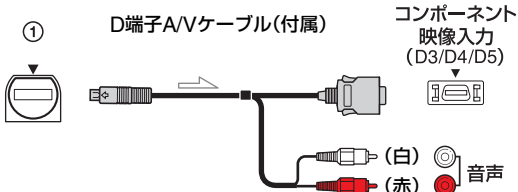
画面にないときは、▲/▼をタッチして、表示させる。

2 画面に表示される質問の答えをタッチする。

質問に答えながら、本機とテレビを接続してください。

ハイビジョンテレビとの接続方法

記録画質がHD(ハイビジョン)のときはHD画質で、SD(標準)のときはSD画質で再生されます。

- コンポーネントプラグ(D端子)のみつないだ場合、音声は出力されません。音声を出力するには白と赤のプラグも接続してください。

⇨：信号の流れ

接続方法	本機の端子	必要なケーブル	テレビの端子	ホームメニューの設定

- HDMIケーブルはHDMIロゴ（表紙参照）がついているものをお使いください。
- 本機側はHDMIミニコネクタ、テレビ側はテレビの端子にあったプラグのHDMIケーブルをお使いください。
- 著作権保護のための信号が記録されている映像を、本機のHDMI OUT端子から出力することはできません。
- 一部の機器では、映像や音声が出ないなど正常に動作しない場合があります。
- 本機と接続機器の出力端子同士を接続しないでください。故障の原因となります。
- 接続先の機器が5.1chサラウンドに対応している場合、5.1ch音声で記録したHD（ハイビジョン）画質の動画は、自動的に5.1ch音声で出力されます。SD（標準）画質の動画は、2ch音声に変換して出力されます。

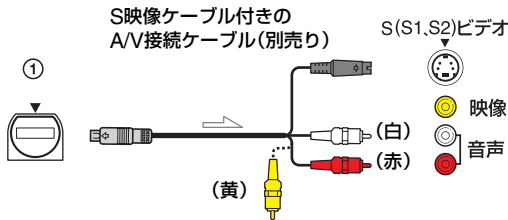
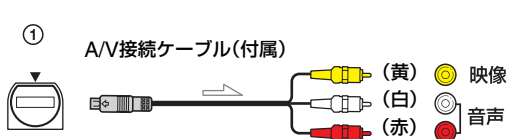
ハイビジョン非対応のワイドテレビ/4:3テレビとの接続方法

テレビ（ワイド/4:3）に合わせて画像の横縦比を変えるには

お使いになるテレビの横縦比に合わせて、［TVタイプ］を［16:9］または［4:3］に設定してください（67ページ）。

ご注意

- SD（標準）画質で記録して、ワイド信号非対応の4:3テレビで再生する場合は、撮影時に（ホーム）→（設定）→［動画撮影設定］→［ワイド切換］→［4:3］に設定してから撮影してください（60ページ）。

- コンポーネントプラグ(D端子)のみつないだ場合、音声は出力されません。音声を出力するには白と赤のプラグも接続してください。

- S映像プラグのみつないだ場合、音声は出力されません。音声を出力するには白と赤のプラグも接続してください。
- A/V接続ケーブル(接続 E)に比べ、画像をより忠実に再現できます。
- 本機はS1映像端子対応のため、つなぐ端子がSまたはS2映像端子のときは画像が正しく表示されない場合があります。その場合、テレビの設定を変更することで改善されることがあります。テレビの取扱説明書もあわせてお読みください。

* お使いのテレビに合わせて設定してください。

ビデオ経由でテレビにつなぐには

ビデオの入力端子によって接続方法を選ぶ。ビデオの外部入力端子につなぎ、ビデオに入力切り換えスイッチがある場合は「外部入力」（ビデオ1、ビデオ2など）に切り換える。

モノラルテレビ（音声端子がひとつ）のときは

A/V接続ケーブルの黄色いプラグを映像入力へ、白いプラグ（左音声）か赤いプラグ（右音声）のどちらかを音声入力へつなぐ。

ご注意

- A/V接続ケーブルを使って映像を出力すると、出力される画質はSD（標準）になります。

ちょっと一言

- 画像を出力するときに、複数のケーブルでテレビをつないでいるときは、テレビの入力がHDMI→コンポーネント→S（S1、S2）映像→映像端子の順で優先されます。
- HDMI（High Definition Multimedia Interface）とは、テレビ接続機器のデジタル映像/音声信号を直接つなぐインターフェースです。HDMI OUT端子とテレビを1本のケーブルで接続することで、高画質な映像とデジタル音声を楽しめます。

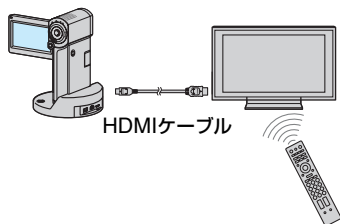
“ブラビア プレミアムフォト”について

本機は“ブラビア プレミアムフォト”に対応しています。“ブラビア プレミアムフォト”とは、写真らしい高精細で微妙な質感や色あいの表現を可能にする機能です。“ブラビア プレミアムフォト”に対応したソニー製テレビと本機を、HDMIケーブル*、またはD端子A/V接続ケーブル**で接続すると、写真を今までになかった感動のFull HD高画質でお楽しみいただけます。

* 静止画表示時にテレビの設定が自動的に切り替わります。

** テレビ側の設定が必要です。
詳しくはテレビの取扱説明書をご覧ください。

ブラビアリンクを使う

本機とブラビアリンクに対応のテレビ*をHDMIケーブルでつなぐと、テレビのリモコンで再生操作ができます。

* 2008年以降に発売された、ブラビアリンク対応のTVで使用できます。

1 **本機とブラビアリンクに対応したテレビ*をHDMIケーブル（別売り）でつなぐ。**

2 **本機の電源を入れる。**

TVの入力が自動で切り替わり、本機の映像が表示されます。

3 **テレビのリモコンを操作する。**

下記のような操作が出来ます。

– リンクメニューボタンで（ホーム）の（画像再生）カテゴリー画面を表示する。
– 上/下/左/右/決定ボタンで、ビジュアルインデックスなどのインデックス画面を表示したり、動画や静止画のお好みの画面を再生できます。

ご注意

- 本機を設定するには、（ホーム）→（設定）→[一般設定]→[HDMI機器制御]→[入]（お買い上げ時の設定）をタッチしてください。
- テレビ側の設定も必要です。詳しくは、テレビの取扱説明書をご覧ください。

撮る/見る

ちょっと一言

- TVの電源を切ると、本機も連動して電源が切れます。

画像を保存する

本機で撮影した画像は、"メモリースティック PRO デュオ"に記録されます。"メモリースティック PRO デュオ"の容量には限りがあるため、DVD-Rなどの外部メディアやパソコンに撮影した画像データを保存してください。
本機で撮影した画像は、以下の方法で保存(バックアップ)できます。

パソコンを使って、画像を保存する

付属のCD-ROM収録のソフトウェア「Picture Motion Browser」を使って、本機で撮影した画像をHD(ハイビジョン)画質、またはSD(標準)画質で保存できます。
HD(ハイビジョン)画質の画像は必要に応じて本機へ書き戻しができます。詳しくは「PMB ガイド」をご覧ください。

ワンタッチでディスクを作成する(ワンタッチ ディスク)

本機で撮影した画像を、簡単操作でそのままディスクに保存できます。

画像をパソコンに保存する

本機で撮影した画像をパソコンのハードディスクに保存します。

画像を選んでディスクを作成する

パソコンに取り込んだ画像を選んで、ディスクに保存できます。また、パソコンで画像の編集もできます。

付属の「取扱説明書」をご覧ください。

本機を他の機器につないで画像を保存する

A/V接続ケーブルでつなぐ

SD(標準)画質でダビングできます。

USBケーブルでつなぐ

HD(ハイビジョン)画質またはSD(標準)画質でダビングできます。

51ページをご覧ください。

(その他の機能)カテゴリーでできること

本機で、記録された画像の編集ができます。また、本機を他機につないで活用できます。

(その他の機能)カテゴリー

ご注意

- 編集中や他機とUSB接続しているときに液晶画面を閉じると、本機の電源が切れます。

項目一覧

削除

画像を削除します(45ページ)。

動画から静止画作成

動画からお好みの場面を静止画として記録できます(46ページ)。

編集

画像を編集します(47ページ)。

プレイリスト編集

プレイリストを作成、編集します(48ページ)。

印刷

PictBridgeプリンターに接続して、静止画をプリントします(53ページ)。

USB接続

本機とパソコンなどをUSBケーブルで接続します。
接続方法は、付属の「取扱説明書」をご覧ください。

テレビ接続ガイド

テレビにつないで再生するときの最適なつなぎかたを本機が教えてくれます(37ページ)。

画像を削除する

“メモリースティックPRO デュオ”に記録された画像を本機で削除することができます。

ご注意
- いったん削除した画像は元に戻せません。
- 削除中は、本機からバッテリーやACアダプターを取りはずしたり、“メモリースティック PRO デュオ”を取り出したりしないでください。“メモリースティック PRO デュオ”が壊れるおそれがあります。
- 他機で画像にプロテクト（誤消去防止）をかけているときは、画像を削除できません。
- 大切な画像データは、あらかじめ保存してください（43ページ）。
- パソコンから本機の“メモリースティック PRO デュオ”内のファイルを削除しないでください。

ちょっと一言
- 1度に100個までの画像を選べます。
- 画像の再生画面の（オプション）からも削除できます。
- “メモリースティック PRO デュオ”に記録されているすべての画像を削除して記録容量を元に戻す場合は、初期化します（56ページ）。

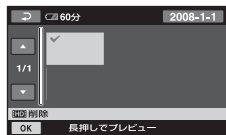
動画を削除する

画像データを削除して、“メモリースティック PRO デュオ”の空き領域を増やすことができます。“メモリースティック PRO デュオ”の空き領域は、[メディア情報]（56ページ）で確認できます。
あらかじめ、削除したい動画の画質に設定しておいてください（55ページ）。

1 （ホーム）→（その他の機能）→[削除]をタッチする。

2 [削除]をタッチする。

3 [HD削除]または[SD削除]をタッチする。

4 削除したい動画をタッチする。

選んだ動画に✔が表示されます。
動画を確認するには、その動画を長押しする。選択画面に戻るにはをタッチする。

5 OK→[はい]→OKをタッチする。

動画をすべて削除するには

手順**3**で[HD全削除]/[SD全削除]→[はい]→[はい]→OKをタッチする。

動画を日付ごとにまとめて削除するには

① 手順**3**で[HD日付指定削除]/[SD日付指定削除]をタッチする。

② ▲/▼をタッチして、削除したい動画の撮影日を選んで、OKをタッチする。
選んだ日付の動画が表示されます。
動画を確認するには、その動画をタッチする。選択画面に戻るにはをタッチする。

③ OK→[はい]→OKをタッチする。

編集する

ご注意
- 削除した動画がプレイリスト（48ページ）に追加されている場合は、プレイリストに追加した動画も削除されます。

静止画を削除する

1 （ホーム）→（その他の機能）→[削除]をタッチする。

2 [削除]をタッチする。

3 [削除]をタッチする。

4 削除したい静止画をタッチする。

選んだ静止画に✔が表示されます。
静止画を確認するには、その静止画を長押しする。選択画面に戻るには をタッチする。

5 OK →[はい]→ OK をタッチする。

静止画をすべて削除するには
手順**3**で[全削除]→[はい]→[はい]→ OK をタッチする。

動画から静止画を作成する

記録済みの動画からお好みの場面を静止画として記録できます。
あらかじめ、静止画として記録したい動画の画質に設定しておいてください（55ページ）。

1 （ホーム）→（その他の機能）→[動画から静止画を作成]をタッチする。

[動画から静止画を作成]画面が表示されます。

2 記録したい動画をタッチする。

選んだ動画が再生されます。

3 記録したい場面で ►II をタッチする。

再生が一時停止します。

4 OK をタッチする。

静止画の記録が完了すると一時停止の状態に戻ります。

続けて静止画を作成するには
►II をタッチしてから、手順**3**以降を行う。
別の動画を選ぶには、 をタッチして手順**2**から行う。

終了するには
 → X をタッチする。

動画を分割する

ご注意

- 記録される静止画の画像サイズは、動画の種類によって次のとおりに固定されます。
  - HD（ハイビジョン）画質のときは［2.1M］
  - SD（標準）画質でワイド（16:9）のときは［0.2M］
  - SD（標準）画質で4:3のときは［VGA（0.3M）］
- "メモリースティック PRO デュオ"に空き容量がないと実行できません。
- 作成された静止画の撮影日時は、元の動画の撮影日時と同じ日時になります。
- 日付時刻データがない動画から静止画を作成した場合、静止画の撮影日時は作成した日時と同じになります。

あらかじめ、分割したい動画の画質に設定しておいてください(55ページ)。

1 （ホーム）→（その他の機能）→［編集］をタッチする。

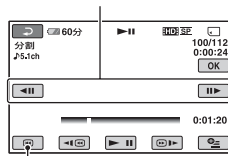
2 ［分割］をタッチする。

3 分割したい動画をタッチする。

選んだ動画が再生されます。

4 分割したいところで をタッチする。

再生が一時停止します。

で分割位置を決定してから微調整をする

選んだ動画の先頭に戻る

をタッチするたびに、再生と一時停止が切り替わります。

5 OK→［はい］→OKをタッチする。

ご注意

- いったん分割した動画は元に戻せません。
- 分割中は、本機からバッテリーやACアダプターを取りはずしたり、"メモリースティック PRO デュオ"を取り出したりしないでください。"メモリースティック PRO デュオ"が壊れるおそれがあります。
- オリジナルの動画を分割するとプレイリストに追加した動画も分割されます。

編集する

- 本機では約0.5秒ごとに分割点を検出するため、▶II で決定した分割点と実際の分割点とでは若干のずれが生じることがあります。

プレイリストを作る

「プレイリスト」とは、オリジナルの動画の中から、お好みの動画を選んで作成したリストのことです。
プレイリストに追加した動画を編集しても、オリジナルの動画には影響ありません。
あらかじめ、プレイリストを作成/再生/編集する動画の画質に設定しておいてください(55ページ)。

ご注意

- HD(ハイビジョン)画質の動画とSD(標準)画質の動画は、それぞれ別のプレイリストに追加されます。

1 **(ホーム)→(その他の機能)→[プレイリスト編集]をタッチする。**

2 **[HD追加]または[SD追加]をタッチする。**

3 **追加したい動画をタッチする。**

選んだ動画に✔が表示されます。
動画を確認するには、その動画を長押しする。選択画面に戻るには ⮌ をタッチする。

4 **OK→[はい]→OKをタッチする。**

動画を日付ごとにまとめてプレイリストに追加するには

① 手順**2**で[HD 日付指定追加]/[SD 日付指定追加]をタッチする。
日付選択画面が表示されます。

② ▲/▼をタッチして、追加したい動画の撮影日を選ぶ。

③ 追加したい動画の撮影日が選択された状態で OK をタッチする。
選択された日付の動画が表示されます。
動画を確認するには、その動画をタッチする。選択画面に戻るには ⮌ をタッチする。

④ OK →[はい]→ OK をタッチする。

ご注意

- 追加中は、本機からバッテリーやACアダプターを取りはずしたり、"メモリースティック PRO デュオ"を取り出したりしないでください。"メモリースティック PRO デュオ"が壊れるおそれがあります。
- 静止画はプレイリストに追加できません。
- HD(ハイビジョン)画質とSD(標準)画質が混在したプレイリストは作成できません。どちらかを選んで作成してください。

ちょっと一言

- 動画の再生画面やインデックス画面から、(オプション)をタッチして追加することもできます。
- 付属のソフトウェアを使って、プレイリストをそのままディスクにコピーすることができます。
- プレイリストにはHD(ハイビジョン)画質で999個、SD(標準)画質で99個までの動画を追加できます。

プレイリストを再生する

あらかじめ、プレイリストを作成/再生/編集する画質に設定しておいてください(55ページ)。

1 **(ホーム)→(画像再生)→[プレイリスト]をタッチする。**

プレイリストに追加された動画が表示されます。

2 **再生したい画像をタッチする。**

選んだ画像からプレイリストの最後まで再生され、プレイリスト画面に戻ります。

追加した動画をプレイリストから消去するには

① (ホーム)→(その他の機能)→[プレイリスト編集]をタッチする。

② [HD 消去]/[SD 消去]をタッチする。
すべての動画をまとめて消去するには、[HD 全消去]/[SD 全消去]→[はい]→[はい]→ OK をタッチする。

③ プレイリストから消去したい動画をタッチする。

選んだ動画に✔が表示されます。

動画を確認するには、その動画を長押しする。選択画面に戻るには［↩］をタッチする。

④ [OK]→［はい］→[OK]をタッチする。

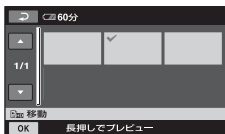
ちょっと一言

- プレイリストに追加した動画を消去しても、オリジナルの動画は消去されません。

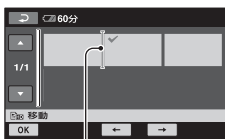
追加した動画を並べ換えるには

① （ホーム）→（その他の機能）→［プレイリスト編集］をタッチする。

② ［HD 移動］/［SD 移動］をタッチする。

③ 移動させたい動画をタッチする。

選んだ動画に✔が表示されます。
動画を確認するには、その動画を長押しする。選択画面に戻るには［↩］をタッチする。

④ [OK]をタッチする。

⑤ [←]/[→]で移動先を選ぶ。

移動先表示

⑥ [OK]→［はい］→[OK]をタッチする。

ちょっと一言

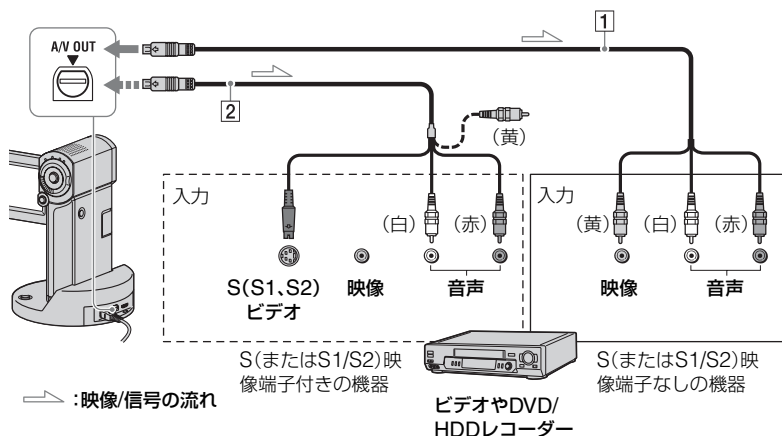
- 複数の動画を選んだ場合は、プレイリストで並んでいた順番で移動します。

他機につないでダビングする

A/V接続ケーブルで接続する

本機と他のビデオ、DVD/HDDレコーダーを接続すると、本機の動画を他のディスクやビデオテープへダビングできます。ディスクにダビングして配るには、この方法が便利です。
下図のどちらかの方法で接続してください。
本機の電源は、付属のACアダプターを使ってコンセントからとってください（15ページ）。
また、つなぐ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

ご注意

- **HD（ハイビジョン）画質で記録された画像は、SD（標準）画質でダビングされます。**
- HD（ハイビジョン）画質でダビングするには、付属のアプリケーションソフトをインストールしたパソコンをお使いください。
- アナログデータを経由してダビングするため、画質が劣化する場合があります。

1 **A/V接続ケーブル（付属）**
A/Vリモート端子またはA/V OUT端子は本機およびハンディカムステーションにそれぞれ装備されています（95、97ページ）。A/V接続ケーブルは、ハンディカムステーション、または本機のどちらか一方に接続してください。

2 **S映像ケーブル付きのA/V接続ケーブル（別売り）**
S（S1、S2）映像端子のある機器につなぐときは、このケーブルで接続すると、付属のA/V接続ケーブルに比べ、画像をより忠実に再現できます。白と赤のプラグ（左右音声端子）とS映像プラグ（S映像端子）のみ接続し、黄色いプラグ（映像端子）は接続不要です。S映像プラグのみつないだ場合、音声は出力されません。

ご注意

- HDMIケーブルを使ってダビングすることはできません。
- 接続した機器の画面にカウンターなどの表示を出さない場合は、（ホーム）→（設定）→［出力設定］→［画面表示出力］→［パネル］（お買い上げ時の設定）にしてください（67ページ）。日時やカメラデータをダビングしたいときは、それらを表示させてください（65ページ）。
- 他機がモノラル（ひとつの音声入力/出力）の場合は、A/V接続ケーブルの黄色いプラグを映像入力へ、白いプラグ（左音声）または赤いプラグ（右音声）を音声入力へつなぎます。

1 本機の電源を入れ、ダビングしたい動画の画質に設定する（55ページ）。

2 （画像再生）をタッチする。

再生機器（テレビなど）に合わせて、［TVタイプ］を設定する（67ページ）。

3 録画側のビデオは録画用カセットテープ、DVD/HDDレコーダーは録画用ディスクをセットする。

入力切り換えスイッチがある場合は、「入力」にする。

4 本機と録画側の機器（ビデオ、DVD/HDDレコーダー）を、A/V接続ケーブル（1、付属）またはS映像端子付きA/V接続ケーブル（2、別売り）でつなぐ。

録画側の機器の入力端子につなぐ。

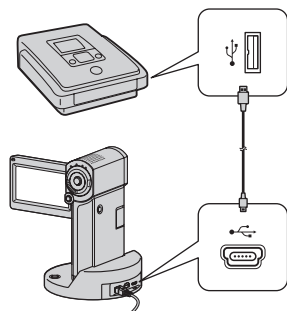
5 本機で再生を始め、録画側の機器で録画を始める。

詳しくは、録画側の機器の取扱説明書をご覧ください。

6 ダビングが終わったら、録画側の機器の録画を停止し、本機の再生を停止する。

USBケーブルで接続する

本機とUSB経由での動画ダビングに対応したDVDライターやブルーレイディスクレコーダーなどを接続すると、本機のハイビジョン映像を画質劣化なく、ダビングすることができます。

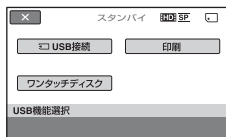
本機の電源は、付属のACアダプターを使ってコンセントからとってください（15ページ）。また、つなぐ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

ご注意

- USB接続中は、以下の操作をしないでください。
  – 液晶画面を閉じる
  – POWERボタンを押す

1 本機をハンディカムステーションまたは専用USB端子アダプターに取り付けて、液晶画面を開いて電源を入れる。

2 USBケーブル(付属)でハンディカムステーションまたは専用USB端子アダプターの⏚(USB)端子とDVDライターなどをつなぐ(97ページ)。

(97ページ)

[USB機能選択]画面が表示されます。

3 [USB接続]をタッチする。

4 録画側の機器の操作を行って、録画を始める。

詳しくは、録画側の機器の取扱説明書をご覧ください。

5 ダビングが終わったら、本機の画面上の[終了]→[はい]をタッチして、USBケーブルを抜く。

重要なお知らせ

DVDプレーヤーやDVDレコーダーはAVCHD規格に非対応のため、作成したHD(ハイビジョン)画質のディスクを入れないでください。ディスクの取り出しができなくなることがあります。

ちょっと一言

- [USB機能選択]画面が表示されないときは、(ホーム)→ (その他の機能)→[USB接続]をタッチして表示させてください。

記録した静止画を印刷する(PictBridge対応プリンター)

PictBridge対応のプリンターを使うと、本機で撮影した静止画をパソコンを使わずに印刷できます。

PictBridge

本機の電源は、付属のACアダプターを使ってコンセントからとってください(15ページ)。あらかじめ、プリンターの電源を入れておいてください。
あらかじめ、本機に静止画を記録した"メモリースティック PRO デュオ"を入れておいてください。

1 本機をハンディカムステーションまたは専用USB端子アダプターに取り付けて、液晶画面を開いて電源を入れる。

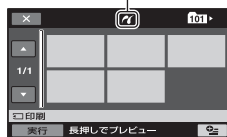
2 USBケーブル(付属)でハンディカムステーションまたは専用USB端子アダプターの⏚(USB)端子とプリンターをつなぐ(97ページ)。

本機の画面に[USB機能選択]画面が表示されます。

3 [印刷]をタッチする。

本機とプリンターの接続が完了すると画面に (PictBridge接続中)が表示される

静止画選択画面が表示されます。

編集する

4 印刷したい静止画をタッチする。

選んだ静止画に✔が表示されます。静止画を確認するには、その静止画を長押しする。選択画面に戻るには、[↩]をタッチする。

5 (オプション)をタッチして次の設定をしたら、[OK]をタッチする。

[印刷部数]：1枚の静止画を印刷する部数。最大20部の印刷部数を設定できる。

[日付/時刻]：[年月日]、[日時分]、または[切](日付/時刻印刷なし)から選ぶ。

[用紙サイズ]：印刷用紙のサイズを選ぶ。

変更しないときは、手順**6**に進む。

6 [実行]→[はい]→[OK]をタッチする。

静止画選択画面に戻ります。

印刷を終了するには

手順**3**で[✕]をタッチする。

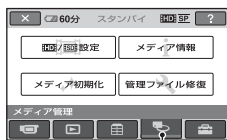
ご注意

- PictBridge規格未対応機器との接続は、動作保証いたしません。
- プリンターの取扱説明書もあわせてご覧ください。
- 画面に が表示中に次の操作をすると、正常な処理が行われません。
  - 液晶画面を閉じる。
  - POWERボタンを押す。
  - (動画)/(静止画)切り換えスイッチを切り換える。
  - 本機をハンディカムステーションまたは専用USB端子アダプターから取りはずす。
  - ハンディカムステーションまたは専用USB端子アダプター、またはプリンターからUSBケーブルを抜く。
- プリンターが動作しなくなった場合は、USBケーブルを抜いてプリンターの電源を入れ直してから、操作をやり直してください。
- プリンターが対応していない用紙サイズは選択できません。
- プリンターによっては、画像の上下左右が切れる場合があります。特に画像がワイド(16:9)のときは、左右が大きく切れる場合があります。
- プリンターによっては、日時印刷に対応していないものがあります。プリンターの取扱説明書をご覧ください。
- 次の静止画は印刷できないことがあります。
  - パソコンで編集した静止画
  - 他機で撮影した静止画
  - ファイルサイズが4MBより大きい静止画
  - 画素数が3,680×2,760より大きい静止画

ちょっと一言

- PictBridge(ピクトブリッジ)とは、カメラ映像機器工業会(CIPA)で制定された統一規格のことです。メーカーや機種に関係なく、ビデオカメラやデジタルスチルカメラを直接プリンターに接続し、パソコンを使わずに画像を印刷できます。
- 静止画の再生画面の (オプション)からも印刷できます。

(メディア管理)カテゴリーでできること

“メモリースティックPRO デュオ”に関するさまざまな操作ができます。

(メディア管理)カテゴリー

項目一覧

HD/SD設定
動画の画質を設定します(55ページ)。

メディア情報
録画可能時間などの“メモリースティックPRO デュオ”の情報が表示されます(56ページ)。

メディア初期化
“メモリースティック PRO デュオ”をフォーマットして初期状態に戻します(56ページ)。

管理ファイル修復
“メモリースティックPRO デュオ”内の管理情報を修復します(57ページ)。

画質を設定する

本機では、記録/再生/編集する画質(HD(ハイビジョン)画質、SD(標準)画質)を選ぶことができます。
お買い上げ時は、HD(ハイビジョン)画質に設定されています。

ちょっと一言
- 設定した画質でのみ、記録/再生/編集ができます。別の画質で記録/再生/編集したいときは、画質を設定し直してください。

1 (ホーム)→(メディア管理)→[HD/SD設定]をタッチする。

画質の選択画面が表示されます。

2 希望の画質をタッチする。

[HD]はHD(ハイビジョン)画質、[SD]はSD(標準)画質を表しています。

3 [はい]→ OK をタッチする。

画質が切り替わります。

メディアを使いこなす

“メモリースティック PRO デュオ”の情報を確認する

“メモリースティックPRO デュオ”の録画モードごとの録画可能時間や、“メモリースティック PRO デュオ”の使用領域と空き領域の目安を確認できます。

ご注意

- かんたん操作中は“メモリースティック PRO デュオ”の情報を確認できません。かんたん操作を解除してください。

1 (動画)ランプを点灯させる。

2 (ホーム)→(メディア管理)→[メディア情報]をタッチする。

録画モードごとの録画可能時間が表示されます。

ちょっと一言

- 画面右下の[→]をタッチすると、残りの記憶容量などを確認できます。

終了するには

[X]をタッチする。

ご注意

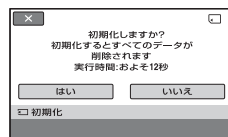
- “メモリースティック PRO デュオ”の容量は、1MBが1,048,576バイトで計算され、MBに満たない端数は切り捨てられて表示されます。そのため、使用領域と空き領域を足しても、若干小さい数値が表示されます。
- 管理ファイル用領域があるため、[メディア初期化](56ページ)を行っても、使用領域の表示は0MBになりません。

画像をすべて削除する(初期化)

「初期化」とは、記録した画像をすべて削除して、“メモリースティック PRO デュオ”の記録容量を元に戻すことです。
大切な画像データは保存してから初期化してください。
本機の電源は、付属のACアダプターを使ってコンセントからとってください(15ページ)。

1 初期化したい“メモリースティック PRO デュオ”を入れる。

2 液晶画面を開いて本機の電源を入れる。

3 (ホーム)→(メディア管理)→[メディア初期化]をタッチする。

4 [はい]→[はい]をタッチする。

5 [完了しました]と表示されたら、[OK]をタッチする。

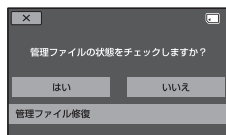
ご注意

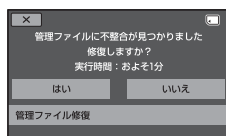
- アクセスランプ点灯中は、“メモリースティック PRO デュオ”を本機から抜かないでください。
- 他機でプロテクト(誤消去防止)をかけた静止画も削除されます。

- [実行中]が表示されているとき、次の操作はしないでください。
  – 液晶画面を閉じる
  – (動画)/(静止画)切り換えスイッチまたはボタンの操作
  – "メモリースティック PRO デュオ"の取り出し
- [メディア初期化]中は、本機に振動や衝撃を与えたりACアダプターを抜いたりしないでください。

管理ファイルを修復する

管理情報と"メモリースティック PRO デュオ"の動画/静止画の整合性を確認し、不整合があれば修復します。

1 (ホーム)→(メディア管理)→[管理ファイル修復]をタッチする。

2 [はい]をタッチする。

管理ファイルのチェックが始まります。

不整合が見つからなかった場合は、OK をタッチして終了してください。

3 [はい]をタッチする。

4 [完了しました]と表示されたら OK をタッチする。

ご注意

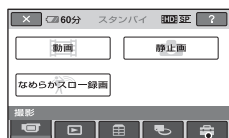
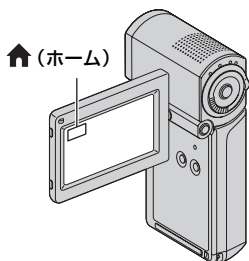
- 管理ファイル修復中は、本機に振動や衝撃を与えたり、本機からバッテリーやACアダプターを取りはずしたり、"メモリースティック PRO デュオ"を取り出したりしないでください。

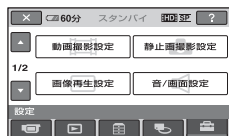
メディアを使いこなす

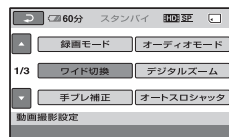
ホームメニューの（設定）カテゴリーでできること

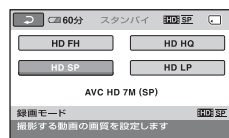
お買い上げ時に設定されている撮影機能や本機の動作を、お好みに合わせて変更できます。

設定のしかた

1 液晶画面を開いて本機の電源を入れ、（ホーム）をタッチする。

（設定）カテゴリー

2 （設定）をタッチする。

3 希望する設定項目をタッチする。

画面にないときは、▲/▼をタッチして、表示させる。

4 希望の項目をタッチする。

画面にないときは、▲/▼をタッチして、表示させる。

5 希望の設定にして、OKをタッチする。

(設定)カテゴリーの項目一覧

動画撮影設定(60ページ)

項目	ページ
録画モード	60
オーディオモード	60
ワイド切換	60
デジタルズーム	61
手ブレ補正	61
オートスロシャッタ	61
X.V.COLOR	61
ガイドフレーム	61
ゼブラ	61
残量表示設定	62
プレーヤ用日付記録	62
フラッシュモード*	62
フラッシュレベル	62
赤目軽減	62
顔検出	63
インデックス設定*	63

静止画撮影設定(63ページ)

項目	ページ
画像サイズ*	63
ファイルナンバー	64
ガイドフレーム	61
ゼブラ	61
フラッシュモード*	62
フラッシュレベル	62
赤目軽減	62
顔検出	63

画像再生設定(65ページ)

項目	ページ
日時/データ表示	65
表示枚数	65

音/画面設定**(66ページ)

項目	ページ
音量*	66
操作音*	66
パネル明るさ	66
パネルBLレベル	66
パネル色の濃さ	66

出力設定(67ページ)

項目	ページ
TVタイプ	67
画面表示出力	67
コンポーネント出力	67

時計設定(68ページ)

項目	ページ
日時あわせ*	19
エリア設定	68
サマータイム	68

一般設定(68ページ)

項目	ページ
デモモード	68
キャリブレーション	92
自動電源オフ	68
クイック オン時間	69
HDMI機器制御	69

* かんたん操作(22 ページ)中に設定できる項目です。

** かんたん操作中は[音設定]になります。

動画撮影設定
(動画を撮影するときの設定)

①→②の順にタッチする。
希望の項目が画面にないときは、▲/▼をタッチして画面を移動します。

▶ 設定方法は
🏠(ホームメニュー)→58ページ
(オプションメニュー)→70ページ

▶はお買い上げ時の設定です。

録画モード

動画を撮影するときの画質を選べます。

■ HD(ハイビジョン)画質のとき

HD FH(HD FH)
最高画質で録画する。
(AVC HD 16M (FH))

HD HQ(HD HQ)
高画質で録画する。
(AVC HD 9M (HQ))

▶HD SP(HD SP)
標準画質で録画する。
(AVC HD 7M (SP))

HD LP(HD LP)
長時間録画する。
(AVC HD 5M (LP))

■ SD(標準)画質のとき

SD HQ(SD HQ)
高画質で録画する。
(SD 9M(HQ))

▶SD SP(SD SP)
標準画質で録画する。
(SD 6M(SP))

SD LP(SD LP)
長時間録画する。
(SD 3M(LP))

ご注意
- LPモードで録画した動画を再生すると、動きの速い映像などでは画像の細部が荒くなることがあります。

ちょっと一言
- 各モードの録画時間の目安は、10ページをご覧ください。

オーディオモード

録画時の音声フォーマットを変更できます。

▶5.1chサラウンド(♪5.1ch)
5.1chサラウンド音声で記録します。

2chステレオ(♪2ch)
2chステレオ音声で記録します。

ご注意
- [なめらかスロー録画]の[音声記録]が[切]で記録された動画を再生するときは、設定にかかわらず一時的に♪2chが表示されます。

ワイド切換

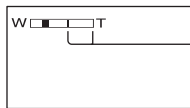
SD(標準)画質で記録するときに、つなぐテレビの画像の横縦比に合った画像サイズで撮影できます。テレビの取扱説明書もあわせてご覧ください。

▶16:9 ワイド
ワイド(16:9)テレビ画面いっぱいに映るように撮影する。

4:3(4:3)
4:3テレビ画面いっぱいに映るように撮影する。

ご注意
- 再生時に接続するテレビに合わせて[TVタイプ]を正しく設定してください(67ページ)。

デジタルズーム

撮影時に、10倍光学ズームを超えてデジタルズームになったときの最大倍率を設定します。デジタル処理のため画質は劣化します。

▶切

10倍光学ズームのみ

20×

10倍光学ズーム＋最大20倍のデジタルズーム

120×

10倍光学ズーム＋最大120倍のデジタルズーム

手ブレ補正

手ブレ補正を使って撮影できます。三脚を利用するときは、[切]（ ）にすると自然な画像になります。お買い上げ時は[入]に設定されています。

オートスロシャッタ（オートスローシャッター）

暗い場所で撮影するときに自動的に1/30までシャッタースピードが遅くなります。お買い上げ時は[入]に設定されています。

X.V.COLOR

[入]にして撮影すると、より広い色域で記録できます。今までは表現できなかった鮮やかな花の色や、南国の海の美しい青緑色などを、より忠実に再現することが可能になります。

ご注意

- x.v.Colorに対応したテレビで再生するときは、あらかじめ[入]にして撮影してください。
- [入]にして撮影した画像をx.v.Colorに非対応のテレビで再生すると、色が正しく再現されない場合があります。
- 次のとき[X.V.COLOR]は設定できません。
  – SD（標準）画質で記録するとき
  – 動画を撮影中

ガイドフレーム

[入]にすると、フレームを表示して、被写体が水平、垂直になっているかを確認できます。

フレームは記録されません。DISP/BATT INFOボタンを押すと、フレームを消せます。お買い上げ時は[切]に設定されています。

ちょっと一言

- ガイドフレームの交差点に被写体を置くと、バランスの良い構図になります。

ゼブラ

画面に映る画像の中で、設定した輝度レベル部分にしま模様が表示されます。明るさを調節するときの目安にすると便利です。お買い上げ時の設定以外にすると、が表示されます。ゼブラは記録されません。

▶切

表示しない。

70

輝度レベルが約70IREの部分に表示。

100

輝度レベルが約100IRE以上の部分に表示。

ご注意

- 100IRE以上の部分は白とびすることがあります。

ちょっと一言

- IREとは映像の輝度レベルを表す単位です。

残量表示設定

▶入

“メモリースティック PRO デュオ”の残量を常に表示する。

オート

次のときに動画の撮影可能時間を約8秒間表示する。
- (動画)ランプ点灯時に、“メモリースティック PRO デュオ”の残量を認識したとき
- (動画)ランプ点灯時に、DISP/BATT INFOボタンを押して、画面表示を非表示→表示に切り換えたとき
- ホームメニューで動画撮影画面に切り換えたとき

ご注意
- 動画の撮影可能時間が5分以下になったときは、常に表示されます。

プレーヤ用日付記録

字幕表示機能に対応した機器などで本機で記録した“メモリースティック PRO デュオ”を再生するときに、撮影時の日付時刻を表示させることができます。お買い上げ時は[入]に設定されています。再生機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

ご注意
- HD(ハイビジョン)画質で記録した“メモリースティック PRO デュオ”は、AVCHD規格対応機器でのみ再生できます(88ページ)。
- SD(標準)画質のときは[プレーヤ用日付記録]を設定できません。

フラッシュモード

本機の内蔵フラッシュを使って静止画を撮影するときに設定します。

▶**オート**

光量が足りない撮影状況の場合、自動的に発光する。

入( )

周囲の明るさに関係なく、常に発光する。

切( )

常に発光しない。

ご注意
- 内蔵フラッシュの推奨撮影距離は約0.3m～1.5mです。
- フラッシュ表面の汚れは取り除いてください。光による熱で汚れが変色、貼り付くなどして、フラッシュが充分な量を発光できなくなることがあります。
- /CHG(充電)ランプはフラッシュ充電中に点滅し、充電が完了すると点灯に変わります。
- 逆光時や明るい場所では、強制発光を行ってもフラッシュ効果が得られにくいことがあります。

フラッシュレベル

本機の内蔵フラッシュを使って静止画を撮影するときに設定します。

明るい(+)

発光量が増える。

▶**ノーマル( )**

暗い(−)

発光量が減る。

赤目軽減

本機の内蔵フラッシュを使って静止画を撮影するときに設定します。[入]に設定して、[フラッシュモード](62ページ)の設定を[オート]または[入]にすると、が表示されます。フラッシュ発光するときに予備発光し、目が赤く光るのを抑制します。

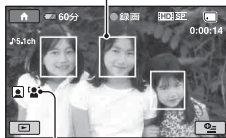
ご注意
- 赤目軽減で撮影しても、効果が現れにくいことがあります。

静止画撮影設定
（静止画を撮影するときの設定）

顔検出

顔部分に合わせてフォーカス/色/露出を自動的に調節します。また、顔部分が細密な画像になるように調整します。

▶入（）
人物の顔を判別して顔枠を表示し、顔部分の画質を自動的に調節する。

顔検出枠

顔検出マーク

入［顔枠表示なし］（）
顔枠表示なしで、顔部分の画質を自動的に調節する。

切
顔部分を検出しない。

ご注意
- 撮影環境によっては、顔部分を検出できないことがあります。
- 撮影環境によっては正しい効果が得られない場合があります。［顔検出］を［切］にしてください。

インデックス設定

お買い上げ時の設定は［入］のため、顔画像を自動的に検索し、フェイスインデックス画面を表示できます（34ページ）。

顔アイコンの状態
：設定が［入］のとき
：顔を検出したときに点滅。登録が完了すると点灯。
：登録できないとき*

* 検出できる数には限りがあります。

①→②の順にタッチする。
希望の項目が画面にないときは、▲/▼をタッチして画面を移動します。

設定方法は
（ホームメニュー）→58ページ
（オプションメニュー）→70ページ

▶はお買い上げ時の設定です。

画像サイズ

▶4.0M（4.0M）
鮮明な画像を4:3で撮影する（2,304×1,728）。

3.0M（3.0M）
鮮明な画像をワイド（16:9）で撮影する（2,304×1,296）。

1.9M（1.9M）
比較的きれいな画像を4:3でたくさん撮影する（1,600×1,200）。

VGA（0.3M）（VGA）
たくさんの画像を4:3で撮影する（640×480）。

ご注意
- 設定した画像サイズは、（静止画）ランプ点灯時に有効です。
- ワイド（16:9）で撮影した静止画をお店でプリントするときは、注文時に「ハイビジョンサイズ」とご指定ください。ご指定がない場合、画像の左右が切れてプリントされることがあります。

“メモリースティック PRO デュオ”の容量と撮影可能枚数（単位：枚）*

（静止画）ランプ点灯時：

	4.0M 2304×1728 4.0M
1GB	475
2GB	970
4GB	1900
8GB	3850
16GB	7700

* 撮影可能枚数は、本機での最大画像サイズの枚数のみ記載しています。実際の撮影可能枚数は、静止画を撮影中の液晶画面でご確認ください（98 ページ）。

ご注意

- ソニー製“メモリースティック PRO デュオ”使用時。枚数は撮影環境や“メモリースティック”の種類によって異なる場合があります。
- ソニー独自のクリアビッドCMOSセンサーの画素配列と画像処理システムBIONZにより、静止画は表記の記載サイズを実現しています。

ちょっと一言

- 静止画撮影には、容量が1GB未満の“メモリースティック PRO デュオ”も使えます。

ファイルナンバー

▶連番

“メモリースティック PRO デュオ”を取り換えても、ファイル番号を連続して付ける。フォルダを新しく作成、または記録先フォルダを変更した場合はリセットされる。

リセット

“メモリースティック PRO デュオ”内に存在している最大ファイル番号の次の番号を付ける。

ガイドフレーム

61ページをご覧ください。

ゼブラ

61ページをご覧ください。

フラッシュモード

62ページをご覧ください。

フラッシュレベル

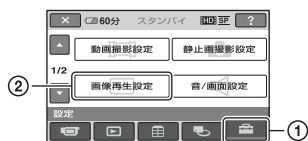
62ページをご覧ください。

赤目軽減

62ページをご覧ください。

顔検出

63ページをご覧ください。

画像再生設定(表示内容の設定)

①→②の順にタッチする。
希望の項目が画面にないときは、をタッチして画面を移動します。

■ 設定方法は
(ホームメニュー)→58ページ
(オプションメニュー)→70ページ

▶はお買い上げ時の設定です。

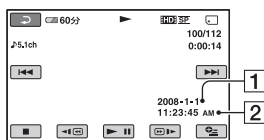
日時/データ表示

撮影時に自動的に記録された情報(日付時刻データやカメラデータ)を再生時に確認できます。

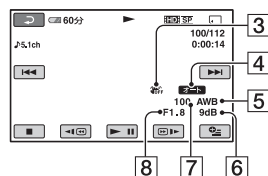
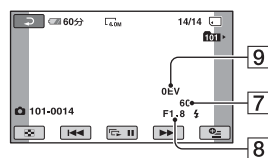
▶切
日付時刻データやカメラデータを表示しない。

日付時刻データ
記録した画像の日付・時刻データを表示する。

カメラデータ
記録した画像のカメラデータを表示する。

日付時刻データ

1 日付
2 時刻

カメラデータ

(動画)

(静止画)

3 手ブレ補正切
4 明るさ調節
5 ホワイトバランス
6 ゲイン
7 シャッタースピード
8 絞り値
9 露出

ちょっと一言

- フラッシュを使って撮影した画像では、が表示されます。
- 本機をテレビにつなぐとテレビ画面にも表示されます。
- "メモリースティック PRO デュオ"の状態によっては、[-- -- --]と表示されます。

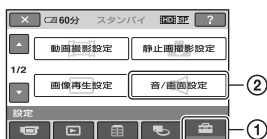
表示枚数

ビジュアルインデックス画面に表示するサムネイルの枚数を設定します。
サムネイル☞用語集(100ページ)へ

▶ズーム連動
本機のズームレバーを動かすと6枚表示と12枚表示が切り替わる。

6枚
常に6枚のサムネイルを表示する。

12枚
常に12枚のサムネイルを表示する。

音/画面設定(音やパネルの設定)

①→②の順にタッチする。
希望の項目が画面にないときは、▲/▼をタッチして画面を移動します。

▶ 設定方法は
🏠(ホームメニュー)→58ページ
(オプションメニュー)→70ページ

▶はお買い上げ時の設定です。

音量

[−]/[＋]をタッチして調節します。33ページをご覧ください。

操作音

▶入
撮影スタート/ストップ時、タッチパネルでの操作時などにメロディが鳴る。

切
操作音を出さない。

パネル明るさ

液晶画面の明るさを調節できます。

① [−]/[＋]で調節する。
② [OK]をタッチする。

ちょっと一言
- 録画される画像に影響ありません。

パネルBLレベル

液晶画面のバックライトの明るさを調節できます。

▶ノーマル
通常の設定(標準の明るさ)。

明るい
画面が暗いと感じたときに選ぶ。

ご注意
- ACアダプターにつないで使うと、設定は自動的に[明るい]になります。
- [明るい]を選ぶと、バッテリー撮影可能時間が若干短くなります。
- 液晶画面を180度回転させ、外側に向けて閉じた状態で使うと、設定は自動的に[ノーマル]になります。

ちょっと一言
- 録画される画像に影響ありません。

パネル色の濃さ

[−]/[＋]で液晶画面の濃さを調節できます。

薄くなる　　　濃くなる

ちょっと一言
- 録画される画像に影響ありません。

出力設定（他の機器とつないだときの設定）

①→②の順にタッチする。
希望の項目が画面にないときは、▲/▼をタッチして画面を移動します。

設定方法は
（ホームメニュー）→58ページ
（オプションメニュー）→70ページ

▶はお買い上げ時の設定です。

TVタイプ

テレビで見るときは、使用するテレビに合わせて信号の変換が必要です。撮影した画像は次のように再生されます。

▶16:9
ワイドテレビで再生するときに選ぶ。

ワイド(16:9)画像 4:3画像

4:3
4:3テレビで再生するときに選ぶ。

ワイド(16:9)画像 4:3画像

ご注意
- HD（ハイビジョン）画質で記録するときの横縦比は16:9になります。
- ID-1/ID-2対応テレビにつないで再生する場合、[TVタイプ]を[16:9]に設定してください。テレビが自動的に再生画像の比率に切り替わります。テレビの取扱説明書もあわせてご覧ください。

画面表示出力

▶パネル
カウンターなどの画面表示を液晶画面に出す。

ビデオ出力/パネル
画面表示をテレビ画面と液晶画面に出す。

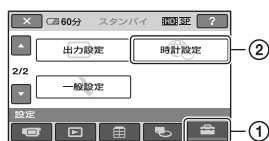
ご注意
- [HDMI機器制御]（41ページ）の設定によって、[画面表示出力]の設定が変わることがあります。

コンポーネント出力

D端子のあるテレビとつなぐときに選びます。

D1
D1/D2端子があるテレビとつなぐときに選ぶ。

▶D3
D3/D4/D5端子があるテレビとつなぐときに選ぶ。

時計設定（時刻などの設定）

①→②の順にタッチする。
希望の項目が画面にないときは、▲/▼をタッチして画面を移動します。

▶ 設定方法は
（ホームメニュー）→58ページ
（オプションメニュー）→70ページ

日時あわせ

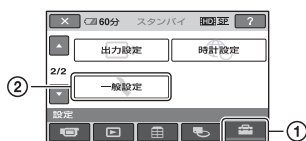
19ページをご覧ください。

エリア設定

時計を止めることなく時差補正ができます。
海外で使用するときは、▲/▼で使用する地域を選び、現地時刻に合わせます。「世界時刻表」（86ページ）をご覧ください。

サマータイム

時計を止めることなく設定を変更できます。
［入］に設定すると、時計が1時間進みます。

一般設定（その他の設定）

①→②の順にタッチする。
希望の項目が画面にないときは、▲/▼をタッチして画面を移動します。

▶ 設定方法は
（ホームメニュー）→58ページ
（オプションメニュー）→70ページ

▶はお買い上げ時の設定です。

デモモード

お買い上げ時の設定は［入］のため、電源を入れて（動画）ランプを点灯させると、約10分後に本機の機能のデモンストレーションを見ることができます。

ちょっと一言
- 次のいずれかを行うと、デモンストレーションを中断できます。
  - START/STOPボタン、またはPHOTOボタンを押す。
  - デモンストレーション中に画面をタッチする（約10分後に再開します）。
  - （静止画）ランプを点灯させる。

キャリブレーション

92ページをご覧ください。

自動電源オフ

▶5分後
何も操作しない状態が約5分以上続くと、自動的に電源が切れる。

なし
自動的に電源は切れない。

ご注意

- コンセントにつないで使うと自動的に[なし]になります。

クイック オン時間

スリープモード中に電源が切れるまでの時間を[切]/[5分後](お買い上げ時の設定)/[10分後]/[15分後]から選んで設定します。

ご注意

- スリープモード中は、[自動電源オフ]の設定は無効になります。

ちょっと一言

- クイックオン機能を使用しないときは[切]を選ぶとバッテリーの消耗を防ぐことができます。

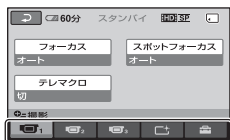
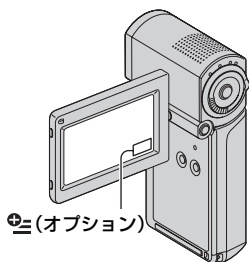
HDMI機器制御

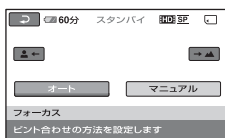
お買い上げ時の設定は[入]のため、HDMIケーブルでブラビアリンク対応のテレビとつないで再生すると、テレビのリモコンで本機の再生操作ができます(41ページ)。

オプションメニューで設定する

パソコンの右クリックのような役割がオプションメニューです。そのときに設定できるさまざまな機能が表示されます。

設定のしかた

1 本機を使用中に、画面の（オプション）をタッチする。

2 希望の項目をタッチする。

画面にないときは、他のタブをタッチして、表示させる。

他のタブをタッチしても見つからないときは、その機能は使えません。

3 希望の設定にして、OK をタッチする。

ご注意

- 表示されるタブや項目は、撮影、再生時の本機の状態によって変わります。
- タブが表示されない場合もあります。
- かんたん操作中はオプションメニューは使えません。

撮るときなどのオプションメニュー

項目	ホームにもある項目	ページ
タブ		
フォーカス	–	72
スポットフォーカス	–	72
テレマクロ	–	72
カメラ明るさ	–	73
スポット測光	–	73
シーンセレクション	–	73
ホワイトバランス	–	74
COLOR SLOW SHTR	–	74

項目	ホームにもある項目	ページ
タブ		
フェーダー	–	75
デジタルエフェクト	–	75
P.エフェクト	–	75

項目	ホームにもある項目	ページ
タブ		
録画モード	○	60
内蔵ズームマイク	–	75
マイク基準レベル	–	75
画像サイズ	○	63
セルフタイマー	–	75
フラッシュモード	○	62
タイミング	–	30
音声記録	–	30

見るときなどのオプションメニュー

項目	ホームにもある項目	ページ
タブ		
削除	○	45
日付指定削除	○	45
全削除	○	45

項目	ホームにもある項目	ページ
タブ		
分割	○	47
全消去	○	49
移動	○	50

項目	ホームにもある項目	ページ
ーー(状況によってタブが変わる)/タブなし		
HDへ追加*	○	48
SDへ追加*	○	48
HDへ日付指定追加*	○	49
SDへ日付指定追加*	○	49
印刷	○	53
スライドショー	–	36
音量	○	66
日時/データ表示	○	65
スライドショー設定	–	36
HD追加	○	48
SD追加	○	48
HD日付指定追加	○	49
SD日付指定追加	○	49
印刷部数	–	53
日付/時刻	–	53
用紙サイズ	–	53
消去	○	49

* ホームメニューにも同じ機能がありますが、項目名は異なります。

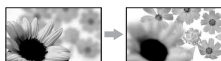
本機の設定を変える

オプションメニューで設定する機能

ここではオプションメニューからのみ設定できる機能について説明します。

▶はお買い上げ時の設定です。

フォーカス

手動でピントを合わせられます。ピントを合わせる被写体を意図的に変えるときにも使えます。

① [マニュアル]をタッチする。
　が表示されます。

② （近くにピント合わせ）/（遠くにピント合わせ）をタッチしてピントを調節する。
　それ以上近くにピントを合わせられないときはが、それ以上遠くにピントを合わせられないときはが表示されます。

③ OK をタッチする。

自動ピント合わせに戻すには、手順①で[オート]→OK をタッチする。

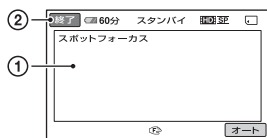
ご注意

- ピント合わせに必要な被写体との距離は、広角は約1cm以上、望遠は約80cm以上です。

ちょっと一言

- ピントは、始めにズームをT側（望遠）にしてピントを合わせてから、W側（広角）に戻していくと合わせやすくなります。接写時は、逆にズームをW側（広角）いっぱいにしてピントを合わせます。
- 次のとき、フォーカス距離情報（ピントが合う距離。暗くてフォーカスが合わせにくいときに目安として使用します）を数秒間表示します。
  – ピントを合わせる設定を自動から手動に切り換えたとき
  – フォーカスを手動調節したとき

スポットフォーカス

画面中央からはずれた被写体を基準にして、ピントを合わせられます。

① 画面枠内の被写体にタッチする。
　が表示されます。

② [終了]をタッチする。

自動ピント合わせに戻すには、手順①で[オート]→[終了]をタッチする。

ご注意

- スポットフォーカス中は、[フォーカス]が自動的に[マニュアル]になります。

テレマクロ

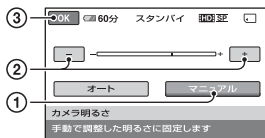
背景をぼかして、被写体をより際立たせることができます。花や昆虫など小さいものを撮るときに便利です。
[入]（T）にするとズーム（28ページ）が自動で望遠（T側）になり、約36cmまでの近接撮影ができます。

解除するには、[切]をタッチする。またはズームを広角（W側）にする。

ご注意

- 被写体が遠いときはピントが合いにくく、ピントが合うまでに時間がかかる場合があります。
- ピントが合いにくいときは、手動でピントを合わせてください（[フォーカス]、72ページ）。

カメラ明るさ

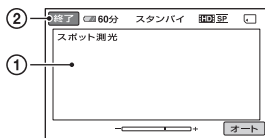
画像の明るさを手動で固定できます。背景に比べて被写体が明るすぎたり、暗すぎたりするときなどに調整します。

① [マニュアル]をタッチする。
  -━━━━━+ が表示されます。

② [−]/[+] で明るさを調節する。

③ [OK] をタッチする。

自動調節に戻すには、手順①で[オート]→[OK] をタッチする。

スポット測光(フレキシブルスポット測光)

被写体が最適な明るさで映るように画面全体の明るさを調節し、固定できます。舞台上の人物の撮影など、被写体と背景のコントラストが強いときに使います。

① 画面枠内の撮影するポイントをタッチする。
  -━━━━━+ が表示されます。

② [終了]をタッチする。

自動調節に戻すには、手順①で[オート]→[終了]をタッチする。

ご注意

- フレキシブルスポット測光中は、[カメラ明るさ]は自動的に[マニュアル]になります。

シーンセレクション

場面に合わせて、効果的な画像で撮影できます。

▶オート
シーンセレクションを使わずに、自動的に効果的な画像になる。

夜景* ( )
暗い雰囲気を損なわずに、遠くの夜景を撮影できる。

夜景&人物 ( )
静止画撮影時にフラッシュを使い、人物と背景を撮影する。

キャンドル ( )
キャンドルライトの雰囲気を損なわずに撮影できる。

日の出&夕焼け* ( )
日の出や夕焼けなどを雰囲気たっぷりに表現する。

打ち上げ花火* ( )
打ち上げ花火をきれいに撮影する。

風景* ( )
遠景まではっきり撮影できる。ガラスや金網越しに撮るときも、向こうの被写体にピントが合うようになる。

ソフトポートレート ( )
背景をぼかして、前にいる人物や花などをソフトに引き立てる。

スポットライト**（ ）

スポットライトを浴びている人物の顔などが白く飛んでしまうのを防ぐ。

ビーチ**（ ）

海や湖畔などで、水の青さを鮮やかに撮影できる。

スノー**（ ）

ゲレンデなどの白い風景で、画面が暗くなるのを防ぎ、明るくする。

* 遠景のみにピントが合うように設定されます。

** 近くのものにピントが合わないように設定されます。

ご注意

- （静止画）ランプ点灯時に[夜景&人物]に設定していても、（動画）ランプを点灯させると[オート]になります。
- [シーンセレクション]を設定すると、[ホワイトバランス]の設定が解除されます。

ホワイトバランス

撮影する場面に合わせて色合いを調節できます。

▶オート

自動調節される。

屋外（ ）

次の撮影環境に合った色合いになる。

– 屋外
– 夜景やネオン、花火など
– 日の出、日没など
– 昼光色蛍光灯の下

屋内（ ）

次の撮影環境に合った色合いになる。

– 屋内
– パーティー会場やスタジオなど照明条件が変化する場所
– スタジオなどのビデオライトの下、ナトリウムランプや電球色蛍光灯の下

ワンプッシュ（ ）

光源に合わせてホワイトバランスを固定する。

① [ワンプッシュ]をタッチする。

② 被写体を照らす照明条件と同じところに白い紙などを置き、画面いっぱいに映す。

③ [ ]をタッチする。
 が速い点滅に変わり、ホワイトバランスが調節されます。終わると点灯に変わります。

ご注意

- 白色や昼白色の蛍光灯下では、[オート]に設定するか[ワンプッシュ]の手順で色合いを調節してください。
- [ワンプッシュ]設定時の の速い点滅中は、白い物を映し続けてください。
- [ワンプッシュ]が設定できなかった場合、 がゆっくり点滅します。
- [ワンプッシュ]で設定するとき、OK をタッチしても が点滅する場合は、[オート]に設定してください。
- [ホワイトバランス]を設定すると、[シーンセレクション]が[オート]になります。

ちょっと一言

- [オート]でバッテリーを交換したときや屋内外を移動したときは、白っぽい被写体に向けて[オート]で約10秒間撮影すると、より良い色合いになります。
- [ワンプッシュ]設定中に、[シーンセレクション]の効果を変えたり、屋外と屋内を行き来したりしたときは、再び[ワンプッシュ]の手順を行ってください。

COLOR SLOW SHTR（Color Slow Shutter）

薄暗い場所でも明るくカラーで撮影できます。
[COLOR SLOW SHTR]を[入]にすると、 が表示されます。
解除するには、[切]をタッチする。

ご注意

- ピントが合いにくい場合は、手動でピントを合わせてください（[フォーカス]、72ページ）。
- シャッタースピードが明るさによって変わるため、画像の動きが遅くなることがあります。

フェーダー

場面間に、効果を入れながら、つなぎ撮りできます。

① スタンバイ中（フェードインのとき）、または撮影中（フェードアウトのとき）に使いたい効果を選んで OK をタッチする。

② START/STOPボタンを押す。
フェーダー表示が点灯に変わり、終了後消えます。

操作開始前に解除するには、手順①で[切]をタッチする。
一度START/STOPボタンを押すと設定は解除されます。

ホワイトフェーダー

ブラックフェーダー

デジタルエフェクト

[オールドムービー]を選択すると D✦ が表示され、昔の映画のような画像で撮影できます。
解除するには、[切]をタッチする。

P.エフェクト（ピクチャーエフェクト）

特殊効果を加えて撮影できます。P✦ が表示されます。

▶切
ピクチャーエフェクトを使わない。

セピア
古い写真のような画像。

モノトーン
白黒の画像。

パステル
淡い色の画像。

内蔵ズームマイク

[入]（ ）に設定すると、ズームと連動して指向性のある音声を記録できます。お買い上げ時は[切]に設定されています。

マイク基準レベル

録音時のマイクレベルを選べます。
演奏会などで、臨場感のある音を録音したいときは[低]を選びます。

▶標準
周囲の音を一定のレベル内におさめて録音する。

低（ ）
周囲の音を忠実に録音する（日常の会話の録音などには適していません）。

セルフタイマー

[入]に設定すると が表示されます。
PHOTOボタンを押すとカウントダウンが始まり、約10秒後に静止画を撮影します。撮影を中止するには[リセット]をタッチする。
解除するには、[切]をタッチする。

本機の設定を変える

故障かな？と思ったら

修理に出す前に、もう一度点検してください。それでも正常に動作しないときは、ソニーの相談窓口（最後のページ）にお問い合わせください。

全体操作/かんたん操作

電源が入らない。

- 充電されたバッテリーを入れる（15ページ）。
- ACアダプターをコンセントに差し込む（15ページ）。
- 本機をハンディカムステーションに正しく取り付ける（15ページ）。

電源が入っているのに操作できない。

- 電源を入れてから撮影が可能になるまで数秒かかりますが、故障ではありません。
- 電源（バッテリーまたはACアダプターの電源コード）を取りはずし、約1分後に電源を取り付け直す。それでも操作できないときは、RESETボタン（94ページ）を先のとがったもので押す（すべての設定が解除されます）。

ボタンが操作できない。

- かんたん操作中（22ページ）は次のボタン/機能は使えません。
  – 再生ズーム（35ページ）
  – 液晶画面バックライトの切り換え（18ページ）

（オプション）が表示されない。

- かんたん操作中はオプションメニューは使えません。

メニュー項目の設定が変わっている。

- かんたん操作中、ほとんどのメニュー項目はお買い上げ時の設定に自動で戻ります。
- かんたん操作中、次のメニュー項目の設定は固定されます。
  – [録画モード]：[HD SP]/[SD SP]
  – [日時/データ表示]：[日付時刻データ]
- 次のメニュー項目は、電源を切って12時間以上経つと自動的にお買い上げ時の設定に戻ります。
  – [フラッシュモード]
  – [フォーカス]
  – [スポットフォーカス]
  – [カメラ明るさ]
  – [スポット測光]
  – [シーンセレクション]
  – [ホワイトバランス]
  – [COLOR SLOW SHTR]
  – [内蔵ズームマイク]
  – [マイク基準レベル]

EASYボタンを押してもメニュー設定が自動に切り替わらない。

- 次のメニュー項目はかんたん操作前の設定値が保持されます。
  – [HD/SD設定]
  – [オーディオモード]
  – [ワイド切換]
  – [X.V.COLOR]
  – [プレーヤ用日付記録]
  – [フラッシュモード]
  – [インデックス設定]
  – [画像サイズ]
  – [ファイルナンバー]
  – [表示枚数]
  – [音量]
  – [操作音]
  – [TVタイプ]

– [コンポーネント出力]
– [日時あわせ]
– [エリア設定]
– [サマータイム]
– [デモモード]
– [HDMI機器制御]

本機があたたかくなる。

- 長時間電源を入れたままにしたためで、故障ではありません。

バッテリー/電源

電源が途中で切れる。

- お買い上げ時の設定では、操作しない状態が約5分以上続くと、自動的に電源が切れます(自動電源オフ)。[自動電源オフ]の設定を変更する(68ページ)か、もう一度電源を入れる、またはACアダプターを使用する。
- スリープモード中に[クイック オン時間](69ページ)で設定した時間が経過すると、自動的に電源が切れます。もう一度電源を入れてください。
- バッテリーを充電する(15ページ)。

バッテリーの充電中、ϟ/CHG(充電)ランプが点灯しない。

- 電源を切る(15ページ)。
- バッテリーを正しく入れ直す(15ページ)。
- コンセントにプラグを正しく差し込む。
- すでに充電が完了している(15ページ)。
- 本機をハンディカムステーションに正しく取り付ける(15ページ)。

バッテリーの充電中、ϟ/CHG(充電)ランプが点滅する。

- バッテリーを正しく入れ直す(15ページ)。それでも点滅するときは、故障のおそれがあるため、コンセントからプラグを抜き、ソニーの相談窓口に問い合わせる(最後のページ)。

バッテリー残量が正しく表示されない。

- 周囲の温度が極端に高い/低い、または充電が不充分なためで、故障ではありません。
- 満充電し直す。それでも正しく表示されないときは、バッテリーの寿命です。新しいバッテリーに交換する(15ページ)。
- 使用状況や環境によっては正しく表示されません。

バッテリーの消耗が速い。

- 周囲の温度が極端に高い/低い、または充電が不充分なためで、故障ではありません。
- 満充電し直す。それでも消耗が速いときは、バッテリーの寿命です。新しいバッテリーに交換する(15ページ)。

液晶画面

メニュー項目が灰色で表示され、選択できない。

- その項目は選択できません。
- 機能によっては、一緒に使えないものがあります(81ページ)。

タッチパネルのボタンが表示されない。

- 液晶画面を軽くタッチする。
- DISP/BATT INFOボタンを押す(18ページ)。

タッチパネルのボタンが操作できない/正しく操作できない。

- タッチパネルを調節(キャリブレーション)する(92ページ)。

"メモリースティック PRO デュオ"

"メモリースティック PRO デュオ"を入れても操作を受け付けない。

- パソコンでフォーマット(初期化)した"メモリースティック PRO デュオ"を入れている場合は、本機で初期化し直す(56ページ)。

"メモリースティック PRO デュオ"の画像消去、初期化ができない。

- 編集画面では、削除する画像を1度に100枚までしか選択できません。
- 他機でプロテクトをかけた画像は削除できません。

データファイル名が正しくない、または点滅している。

- ファイルが壊れている。
- 本機で対応しているファイル形式を使う(89ページ)。

撮影

「"メモリースティック PRO デュオ"」(78ページ)もご覧ください。

START/STOPボタンやPHOTOボタンを押しても撮影できない。

- 再生画面になっている。(動画)/(静止画)切り換えスイッチをずらして(動画)ランプまたは(静止画)ランプを点灯させる(27ページ)。
- スリープモード中は撮影できません。液晶画面を開く(29ページ)。
- 直前に撮影した画像を"メモリースティック PRO デュオ"に書き込んでいる。書き込んでいる間は、新たに撮影できません。
- "メモリースティック PRO デュオ"の空き容量がない。新しい"メモリースティック PRO デュオ"を入れるか、初期化する(56ページ)。または不要な画像を削除する(45ページ)。
- 動画のシーン数や静止画の枚数が本機で撮影できる上限を超えている(64ページ)。不要な画像を削除する(45ページ)。
- 結露している。電源を切り、1時間放置する(91ページ)。

静止画を撮影できない。

- 次の設定のとき、動画撮影中に静止画を記録することはできません。
  – [なめらかスロー録画]
  – [フェーダー]
  – [デジタルエフェクト]
  – [P.エフェクト]

撮影を止めてもアクセスランプがついている。

- 撮影した画像を"メモリースティック PRO デュオ"に書き込んでいる。

画角が異なって見える。

- 本機の状態によっては画角が異なって見える場合があります。故障ではありません。

フラッシュが発光しない。

- 動画撮影中に静止画を記録するとき、フラッシュ撮影はできません(29ページ)。
- [フラッシュモード]が[オート]や[入]に設定されていても、次の設定のときは、フラッシュは発光しません。
  – [シーンセレクション]の[夜景]、[キャンドル]、[日の出＆夕焼け]、[打ち上げ花火]、[風景]、[スポットライト]、[ビーチ]、[スノー]
  – [カメラ明るさ]が[マニュアル]のとき
  – [スポット測光]

実際の動画の録画可能時間が、目安とされている時間より短い。

- 動きの速い映像を記録したときなど、撮影環境によっては録画可能時間が短くなることがあります（10、62ページ）。

START/STOPボタンを押した時点と、記録された動画の開始/終了時点がずれる。

- 本機では、START/STOPボタンを押してから実際に録画が開始/終了するまでに若干の時間差が生じることがあります。故障ではありません。

動画の横縦比（ワイド/4:3）が切り換えられない。

- HD（ハイビジョン）画質のときは、動画の横縦比は切り換えられません。

オートフォーカスができない。

- ［フォーカス］を［オート］にする（72ページ）。
- オートフォーカスが働きにくい状態のときは、手動でピントを合わせる（72ページ）。

手ブレ補正ができない。

- ［手ブレ補正］を［入］にする（61ページ）。
- ［手ブレ補正］が［入］になっていても、手ブレが大きすぎると補正しきれないことがあります。

画面をすばやく横切る被写体が曲がって見える。

- フォーカルプレーンという現象で、故障ではありません。撮像素子（CMOSセンサー）の画像信号を読み出す方法の性質により、撮影条件によっては、レンズの前を非常に速く横切る被写体が少しゆがんで見えることがあります。

画面に白や赤、青、緑の点が出ることがある。

- ［COLOR SLOW SHTR］のときに出る現象で、故障ではありません。

画面が暗すぎて画像が見えない。

- DISP/BATT INFOボタンを数秒間押したままにして液晶画面バックライトを点灯させる（18ページ）。

横帯が現れる。

- 蛍光灯・ナトリウム灯・水銀灯など放電管による照明下ではこのような症状が現れることがありますが、故障ではありません。

テレビやパソコンの画面を撮影すると黒い帯が出る。

- ［手ブレ補正］を［切］にする（61ページ）。

［COLOR SLOW SHTR］が正しくできない。

- まったく光のない場所では、［COLOR SLOW SHTR］が正しく働かないことがあります。

［パネルBLレベル］を調節できない。

- 次のとき、［パネルBLレベル］は調節できません。
  – 液晶画面を外側に向けて本体におさめているとき
  – ACアダプターを使用しているとき

再生

再生したい画像が見つからない。

- 再生したい画像の画質を（ホーム）→（メディア管理）→［HD/SD設定］から設定する（55ページ）。

画像を再生できない。

- パソコンでフォルダやファイル名を変更、または画像を加工すると、再生できない場合があります（静止画再生時はファイル名が点滅）。故障ではありません（90ページ）。
- 他機で撮影した画像は、再生できなかったり、正しいサイズで表示されないことがあります。故障ではありません（90ページ）。

ビジュアルインデックスの静止画に ? が表示される。

- 他機で撮影した静止画や、パソコンで画像加工した静止画などはこのように表示されることがあります。
- 撮影後にアクセスランプが消える前に、本機からACアダプターやバッテリーをはずした。この操作をすると、画像データが壊れて ? が表示されることがあります。

ビジュアルインデックスの画像に が表示される。

- ［管理ファイル修復］を実行する（57ページ）。それでも消えない場合は マークが表示されている画像を削除する（45ページ）。

音声が小さい。または聞こえない。

- 音量を大きくする（33ページ）。
- ［マイク基準レベル］（75ページ）を［低］にして記録すると、音声が小さくなる場合があります。
- ［なめらかスロー録画］のときは、［音声記録］を［入］にして記録する（29ページ）。

パソコンや他の再生機器で再生すると、音声の左右のバランスが偏って聞こえる。

- 5.1chサラウンドで撮影した音声を、パソコンや再生機器が2ch（通常のステレオ音声）に変換するときに起きることがある現象で、故障ではありません（28ページ）。
- 2chステレオの再生機器の場合は、音声変換の方式（ダウンミックス方式）を切り換える。詳しくは再生機器の取扱説明書をご確認ください。
- 付属のソフトウェア「Picture Motion Browser」を使ってディスク作成するとき、設定を2chに変更する。
- 撮影するときに本機の［オーディオモード］を［2ch］にする（60ページ）。

本機での編集

編集できない。

- 画像の状態により編集ができなくなっている。

プレイリストに追加できない。

- "メモリースティック PRO デュオ" の空き容量がない。
- プレイリストにはHD（ハイビジョン）画質で999個、SD（標準）画質で99個までしか画像を追加できません。プレイリストから不要な画像を消去する（49ページ）。
- 静止画はプレイリストに追加できません。

分割できない。

- 極端に記録時間の短い動画は分割できません。
- 他機でプロテクトをかけた動画は分割できません。

動画から静止画を作成できない。

- "メモリースティック PRO デュオ" の容量が足りない。

テレビでの再生

テレビにつないで再生するとき、画像や音声が出ない。

- D端子A/Vケーブルを使うときは、接続する機器に合わせて［コンポーネント出力］を正しく設定する（67ページ）。

- D端子A/Vケーブルの D端子プラグだけをつないでいるため。白と赤のプラグも合わせてつなぐ（38、40ページ）。
- 著作権保護のための信号が記録されている映像を、HDMI OUT端子から出力することはできません。
- S映像ケーブル付きA/V接続ケーブルのS映像プラグだけでつないでいるため。白と赤のプラグもあわせてつなぐ（40ページ）。

4:3テレビにつないで再生したら、画像がつぶれて見える。

- ワイド（16:9）で撮影した動画を4:3テレビで見るときに起こる現象で、[TVタイプ]を正しく設定して再生する（67ページ）。

4:3テレビにつないで再生したら、上下に黒い帯が入る。

- ワイド（16:9）で撮影した動画を4:3テレビで見るときに起こる現象で、故障ではありません。

他機での“メモリースティック PRO デュオ”再生

再生できない、または“メモリースティック PRO デュオ”が認識されない。

- HD（ハイビジョン）で記録した“メモリースティック PRO デュオ”をAVCHD規格に対応していない機器で再生することはできません。
- 対応機器について詳しくは、ホームページの「メモリースティック対応表」をご覧ください（最後のページ）。

ダビング/外部機器接続

ダビングできない。

- HDMIケーブルを使ってのダビングはできません。
- A/V接続ケーブルが正しくつながれていない。他機の入力端子へつながれているか確認する（51ページ）。

同時に使えない機能一覧

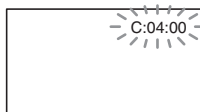
下表は、同時に設定できない機能やメニュー項目の例です。

使えない機能	以下を設定してあるため
[シーンセレクション]	[COLOR SLOW SHTR]、[フェーダー]、[オールドムービー]、[テレマクロ]
[ホワイトバランス]の[ワンプッシュ]	[なめらかスロー録画]
[スポットフォーカス]	[シーンセレクション]
[COLOR SLOW SHTR]	[フェーダー]、[デジタルエフェクト]、[シーンセレクション]
[フェーダー]	[COLOR SLOW SHTR]、[デジタルエフェクト]、[キャンドル]、[打ち上げ花火]
[デジタルエフェクト]	[COLOR SLOW SHTR]、[フェーダー]、[シーンセレクション]、[P.エフェクト]
[P.エフェクト]	[オールドムービー]
[手ブレ補正]	[なめらかスロー録画]
[テレマクロ]	[シーンセレクション]
[オートスロシャッタ]	[なめらかスロー録画]、[デジタルエフェクト]、[シーンセレクション]、[COLOR SLOW SHTR]、[フェーダー]
[ワイド切換]	[オールドムービー]

使えない機能	以下を設定してあるため
[顔検出]	[なめらかスロー録画]、[フォーカス]、[スポットフォーカス]、[カメラ明るさ]、[スポット測光]、[COLOR SLOW SHTR]、[デジタルエフェクト]、[P.エフェクト]、[ホワイトバランス]、[デジタルズーム]、[夜景]、[夜景＆人物]、[キャンドル]、[日の出＆夕焼け]、[打ち上げ花火]、[風景]、[スポットライト]、[ビーチ]、[スノー]
[マイク基準レベル]	[内蔵ズームマイク]
[画面表示出力]	[HDMI機器制御]

警告表示とお知らせメッセージ

自己診断表示/警告表示

液晶画面に次のように表示されます。
お客様自身で対応できる場合でも、2、3回繰り返しても正常に戻らないときは、ソニーの相談窓口（最後のページ）にお問い合わせください。

C:（またはE:）□□:□□（自己診断表示）

C:04:□□

- "インフォリチウム"バッテリーNP-FH50以外のバッテリーが使われている。必ず"インフォリチウム"バッテリーNP-FH50を使う（90ページ）。
- ACアダプターのDCプラグをハンディカムステーションまたは本機のDC IN端子にしっかりつなぐ（15ページ）。

C:13:□□/C:32:□□

- 電源をいったん取りはずし、取り付け直してからもう一度操作し直す。

E:20:□□ / E:31:□□ / E:61:□□/ E:62:□□ / E:91:□□ / E:94:□□

- 修理が必要なため、ソニーの相談窓口（最後のページ）にご連絡いただき、Eから始まる数字すべてをお知らせください。

101-0001（ファイル関連の警告）

遅い点滅

- ファイルが壊れている。
- 扱えないファイル。

（バッテリー残量に関する警告）

遅い点滅

- バッテリー残量が少ない。
- 使用状況や環境、バッテリーパックによっては、バッテリー残量が約20分程でも警告表示が点滅することがある。

（温度の上昇関連の警告）

遅い点滅

- 本機の温度が上昇中である。
  電源を切り、涼しい場所でしばらく放置する。

速い点滅*

- 本機の温度が著しく上昇している。
  電源を切り、涼しい場所でしばらく放置する。

（"メモリースティック PRO デュオ"関連の警告）

遅い点滅

- 撮影に必要な空き容量が少なくなっている。本機で使える"メモリースティック"については、2ページをご覧ください。
- "メモリースティック PRO デュオ"が入っていない（20ページ）。

速い点滅

- 撮影に必要な空き容量がない。不要な画像を削除するか、画像を保存（バックアップ）してから"メモリースティック PRO デュオ"を初期化する（43、45、56ページ）。
- 管理ファイルが壊れている（57ページ）。

（"メモリースティック PRO デュオ"初期化関連の警告）*

- "メモリースティック PRO デュオ"が壊れている。
- "メモリースティック PRO デュオ"が正しく初期化されていない（56、89ページ）。

(非対応"メモリースティック PRO デュオ"関連の警告)*

- 本機では使えない"メモリースティック PRO デュオ"を入れた(89ページ)。

("メモリースティック PRO デュオ"誤消去防止に関する警告)*

- 他機でアクセスコントロールをかけた"メモリースティック PRO デュオ"を使っている。

(フラッシュ関連の警告)

速い点滅*

- フラッシュに異常がある。

(手ブレ警告)

- 光量不足のため、手ブレが起こりやすい状況になっているので、フラッシュを使う。
- 手ブレが起こりやすくなっているので、本機を両手でしっかりと固定して撮影する。ただし、手ブレマークは消えません。

(静止画撮影に関する警告)

- メディアの空き容量がない。
- 処理中のため、一時的に静止画記録ができない。しばらく待ってから撮影する。

* 警告表示・お知らせメッセージが出るときに、「操作音」が鳴ります(66ページ)。

お知らせメッセージの例

お知らせメッセージが表示されたときは、その指示に従ってください。

■ "メモリースティック PRO デュオ"

メモリースティックを入れなおしてください

- "メモリースティック PRO デュオ"を2、3回入れ直す。それでも表示されるときは"メモリースティック PRO デュオ"が壊れている可能性があるので交換する。

このメモリースティックはフォーマットが違います

- "メモリースティック PRO デュオ"のフォーマットを確認し、必要ならば本機で初期化する(56、89ページ)。

メモリースティックのフォルダがいっぱいです

- 作成できるフォルダは、999MSDCFまでです。本機でフォルダの作成、消去はできません。
- 初期化するか(56ページ)、パソコンで不要なフォルダを消去する。

このメモリースティックは動画を記録・再生できない可能性があります

- 本機での使用をおすすめしている"メモリースティック"をお使いください(2ページ)。

このメモリースティックは正常に記録・再生できない可能性があります

- "メモリースティック PRO デュオ"の機能に何らかの異常が認められました。もう一度"メモリースティック PRO デュオ"を入れ直してください。
- ソニーの相談窓口(最後のページ)にお問い合わせください。

書き込み中にメモリースティックが抜かれました　データが壊れた可能性があります

- “メモリースティック PRO デュオ”をもう一度入れて、画面の指示に従う。

管理ファイルが破損しています　新規作成しますか？
HD動画の管理情報が破損しています　新規作成しますか？

- 画像管理用ファイルが破損している。[はい]をタッチすると管理ファイルが新規作成されます。その場合“メモリースティック PRO デュオ”にある過去に撮影した画像が、本機で再生できなくなります（画像ファイルは壊れません）。新規作成後[管理ファイル修復]を実行すると、過去に撮影した画像が再生できるようになる場合があります。それでも再生できない場合、付属のソフトウェアを使用してパソコンに画像ファイルをコピーする。

管理ファイルに不整合が見つかりました　修復しますか？
管理ファイルが破損しています　修復しますか？
管理ファイルに不整合が見つかりました　HD動画を記録・再生できません　修復しますか？

- 管理ファイルが破損しているので、動画撮影ができません。[はい]をタッチして修復する。
- “メモリースティック PRO デュオ”への静止画撮影は可能です。

データ修復中

- 本機の“メモリースティック PRO デュオ”に正常な記録がされなかった場合、自動的にデータの修復を試みる。

データを修復できませんでした

- データ書き込みに失敗したため修復を試みたが、データが復活しなかった。“メモリースティック PRO デュオ”への書き込みや編集ができなくなる場合があります。

■ PictBridge対応プリンター

PictBridge対応プリンターと接続されていません

- プリンターの電源を入れ直し、USBケーブルをいったん抜いてからもう一度つなぐ。

プリントできません　プリンターを確認してください

- プリンターの電源を入れ直し、USBケーブルをいったん抜いてからもう一度つなぐ。

■ その他

これ以上選択できません

- プレイリストにはHD（ハイビジョン）画質で999個、SD（標準）画質で99個までしか画像を追加できません。
- 次のときは、1度に100個までしか画像を選択できません。
  – 画像の削除
  – HD（ハイビジョン）画像のプレイリスト編集
  – 静止画の印刷

このデータはプロテクトされています

- 他の機器でプロテクトされた静止画を削除しようとした。プロテクトをかけた機器で解除する。

海外で使う

電源について

本機は、海外でも使えます。
付属のACアダプターは、全世界の電源（AC100V～240V、50/60Hz）で使えます。また、バッテリーも充電できます。ただし、電源コンセントの形状の異なる国や地域では、電源コンセントにあった変換プラグアダプターをあらかじめ旅行代理店でおたずねの上、ご用意ください。
電子式変圧器（トラベルコンバーター）は使わないでください。故障の原因となることがあります。

海外のコンセントの種類

HD（ハイビジョン）画質で見るには

- HD（ハイビジョン）画質で記録した画像をHD（ハイビジョン）画質で見るには、ハイビジョン対応のテレビ（またはモニター）とコンポーネントA/Vケーブル（別売り）またはHDMIケーブル（別売り）が必要です。
- 本機の再生するハイビジョン信号に対応している主な国、地域は「テレビ方式がNTSCの国、地域（五十音順）」を参照してください。

SD（標準）画質で見るには

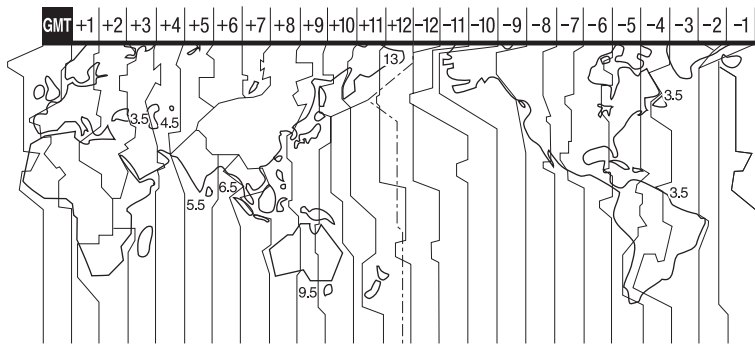
- SD（標準）画質で記録した再生画像を見るには、日本と同じカラーテレビ方式（NTSC、下記参照）で、映像/音声入力端子付きのテレビ（またはモニター）と接続ケーブルが必要です。

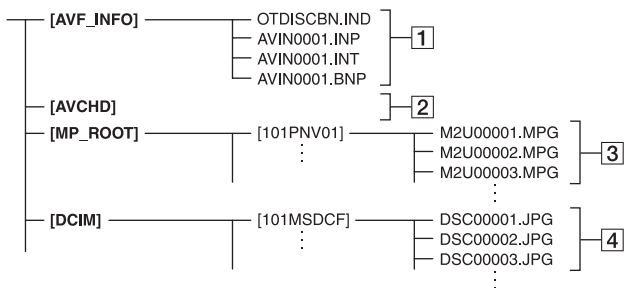
テレビ方式がNTSCの国、地域（五十音順）

アメリカ合衆国、エクアドル、エルサルバドル、ガイアナ、カナダ、キューバ、グアテマラ、グアム、コスタリカ、コロンビア、サモア、スリナム、セントルシア、大韓民国、台湾、チリ、ドミニカ、トリニダード・トバゴ、ニカラグア、日本、ハイチ、パナマ、バミューダ、バルバドス、フィリピン、プエルトリコ、ベネズエラ、ペルー、ボリビア、ホンジュラス、ミクロネシア、ミャンマー、メキシコ など

現地の時間に合わせるには

- 海外で使うときは、（ホーム）→（設定）→[時計設定]の[エリア設定]と[サマータイム]を設定してください（68ページ）。

世界時刻表

“メモリースティック PRO デュオ”のファイル/フォルダ構成

“メモリースティック PRO デュオ”上のファイル/フォルダ構成は以下のとおりです。本機を使って撮影/再生する際は、通常、意識する必要はありません。
パソコンとつないで撮影した動画や静止画を楽しむには、付属のCD-ROMに収録の「PMB ガイド」をご覧になり、付属のソフトウェアを使用してください。

1 **画像管理用ファイル**
削除すると、画像を正常に撮影/再生できなくなることがあります。
隠しファイルに設定されており、通常は表示されません。

2 **HD動画管理情報フォルダ**
本フォルダ以下にHD(ハイビジョン)画質の動画用の記録データが保存されます。
パソコンから本フォルダや、本フォルダ内のファイルやフォルダを操作しないでください。画像ファイルが壊れたり、再生できなくなることがあります。

3 **SD動画ファイル(MPEG2ファイル)**
拡張子は「.MPG」。ファイルサイズの上限は2GBです。2GBを超えると自動でファイルが分割されます。
ファイル名末尾の番号は自動で繰り上がります。ファイル名末尾の番号が9999を超える場合は、自動で新しいフォルダが作成されて、新しい動画ファイルはそちらに記録されます。
フォルダ名は、「101PNV01」→「102PNV01」のように繰り上がります。

4 **静止画ファイル(JPEGファイル)**
拡張子は「.JPG」。ファイル名末尾の番号は自動で繰り上がります。ファイル名末尾の番号が9999を超える場合は、自動で新しいフォルダが作成されて、新しい静止画ファイルはそちらに保存されます。
フォルダ名は、「101MSDCF」→「102MSDCF」のように繰り上がります。

- 本機に入っている“メモリースティック PRO デュオ”は、(ホーム)→(その他の機能)→[USB接続]→[USB接続]を選択して、本機とパソコンをUSB接続することで、パソコンからアクセス可能になります。
- パソコンから本機のファイルやフォルダを操作しないでください。画像ファイルが壊れたり、再生できなくなることがあります。
- パソコンから本機に入っている“メモリースティック PRO デュオ”上のデータを操作した結果に対して、当社は責任を負いかねます。
- 画像ファイルを削除するときは、45ページの手順で行ってください。パソコンから本機に入っている“メモリースティック PRO デュオ”内の画像ファイルを削除しないでください。
- パソコンから本機に入っている“メモリースティック PRO デュオ”をフォーマット(初期化)しないでください。正常に動作しなくなります。

- パソコンから本機に入っている“メモリースティック PRO デュオ”にファイルをコピーしないでください。このような操作による結果に対して、当社は責任を負いかねます。

使用上のご注意とお手入れ

AVCHD規格について

AVCHD規格とは

「AVCHD」規格は、高効率の圧縮符号化技術を用いて、1080i方式*1や720p方式*2のHD（ハイビジョン）信号を記録するハイビジョンデジタルビデオカメラの規格です。映像圧縮にはMPEG-4 AVC/H.264方式を、音声にはドルビーデジタル方式、または、リニアPCM方式を採用しています。

MPEG-4 AVC/H.264方式は、従来の画像圧縮方式に比べ、さらに高い圧縮効率を持った優れた方式です。この方式により、8cmDVDディスク、内蔵ハードディスクドライブ、フラッシュメモリ、“メモリースティック PRO デュオ”などにデジタルビデオカメラの高画質なハイビジョン映像信号を記録することができます。

本機での記録・再生について

本機ではAVCHD規格に基づき、以下の仕様でHD（ハイビジョン）記録ができます。
また、AVCHD規格でのHD（ハイビジョン）記録に加え、従来のMPEG2規格でSD（標準）記録することもできます。

映像*3：MPEG-4　AVC/H.264
1920×1080/60i、1440×1080/60i
音声：ドルビーデジタル5.1/2ch
記録メディア：“メモリースティック PRO デュオ”

*1：1080i 有効走査線数1080本、インターレース方式のハイビジョン規格

*2：720p 有効走査線数720本、プログレッシブ方式のハイビジョン規格

*3：本機は、上記以外のAVCHD規格で記録されたデータの再生には対応していません。

“メモリースティック”について

“メモリースティック”（“Memory Stick”）は小さくて軽いのに大容量のIC記録メディアです。
本機は、標準の“メモリースティック”の約半分の大きさの“メモリースティック デュオ”のみ使えます。ただし、すべての“メモリースティック デュオ”の動作を保証するものではありません。

“メモリースティック”の種類	記録/再生
メモリースティック デュオ（マジックゲート対応）	—
メモリースティック PRO デュオ	○
メモリースティック PRO-HG デュオ	○*

* 本機は 8 ビットパラレルデータ転送には対応せず、メモリースティック PRO デュオと同等の 4 ビットパラレルデータ転送を行います。

- 本機はマジックゲート機能を使ったデータの記録/再生に対応しておりません。“マジックゲート”とは暗号化技術を使って著作権を保護する技術です。
- パソコン（Windows OS/Mac OS）でフォーマット（初期化）した“メモリースティック PRO デュオ”は、本機での動作を保証いたしません。
- お使いの“メモリースティック PRO デュオ”と機器の組み合わせによっては、データの読み込み/書き込み速度が異なります。
- 次の場合、画像ファイルが破壊されることがあります。破壊された場合、内容の補償については、ご容赦ください。
  – 画像ファイルを読み込み中や、“メモリースティック PRO デュオ”にデータを書き込み中（アクセスランプが点灯中および点滅中）に、“メモリースティック PRO デュオ”を取り出したり、本機の電源を切ったりした場合
  – 静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所で使った場合
- 大切なデータは、パソコンのハードディスクなどへバックアップを取っておくことをおすすめします。
- メモエリアに書き込むときは、あまり強い圧力をかけないでください。
- “メモリースティック PRO デュオ”本体およびメモリースティック デュオ アダプターにラベルなどは貼らないでください。
- 持ち運びや保管の際は、“メモリースティック PRO デュオ”に付属の収納ケースに入れてください。
- 端子部に触れたり、金属を接触させたりしないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 小さいお子さまの手の届くところに置かないようにしてください。誤って飲みこむおそれがあります。
- メモリースティック デュオ スロットには、“メモリースティック PRO デュオ”以外は入れないでください。故障の原因となります。
- 次の場所での使用や保管は避けてください。
  – 高温になった車の中や炎天下など気温の高い場所
  – 直射日光のあたる場所
  – 湿気の多い場所や腐食性のものがある場所

■ メモリースティック デュオ アダプターの使用について

- “メモリースティック PRO デュオ”を“メモリースティック”対応機器でお使いの場合は、必ず“メモリースティック PRO デュオ”をメモリースティック デュオ アダプターに入れてからお使いください。
- “メモリースティック PRO デュオ”をメモリースティック デュオ アダプターに入れるときは、正しい挿入方向をご確認の上、奥まで差し込んでください。差し込みかたが不充分だと正常に動作しない場合があります。また、逆向きで無理に入れると、メモリースティック デュオ アダプターが破損し故障の原因となります。

- メモリースティック デュオ アダプターに“メモリースティック PRO デュオ”が装着されない状態で、“メモリースティック”対応機器に挿入しないでください。このような使いかたをすると、機器に不具合が生じることがあります。

■ “メモリースティック PRO デュオ”についてのご注意

- 本機で動作確認されている“メモリースティック PRO デュオ”は16GBまでです。

画像の互換性について

- 本機は(社)電子情報技術産業協会にて制定された統一規格“Design rule for Camera File system”に対応しています。
- 統一規格に対応していない機器(DCR-TRV900、DSC-D700/D770)で記録された静止画像は本機では再生できません。
- 他機で使用した“メモリースティック PRO デュオ”が本機で使えないときは、56ページの手順にしたがい本機で初期化をしてください。初期化すると“メモリースティック PRO デュオ”に記録してあるデータはすべて消去されますので、ご注意ください。
- 次の場合、正しく画像を再生できないことがあります。
  – パソコンで加工した画像データ
  – 他機で撮影した画像データ

InfoLITHIUM(インフォリチウム)バッテリーについて

本機は“インフォリチウム”バッテリー NP-FH50のみ使用できます。それ以外のバッテリーは使えません。“インフォリチウム”バッテリーHシリーズには InfoLITHIUM H マークがついています。

InfoLITHIUM(インフォリチウム)バッテリーとは？

“インフォリチウム”バッテリーは、本機や別売りのACアダプター/チャージャーとの間で、使用状況に関するデータを通信する機能を持っているリチウムイオンバッテリーです。

“インフォリチウム”バッテリーが、本機の使用状況に応じた消費電力を計算してバッテリー残量を分単位で表示します。

本機に付属のバッテリーNP-FH50は、“ActiFORCE”に対応しています。

“ActiFORCE”とは、当社従来の“インフォリチウム”バッテリー Pシリーズ電源システムと比較して高容量、急速充電、バッテリー残量計算精度･スピードを改善した、次世代電源システムの機能名称です。

充電について

- 本機を使う前には、必ずバッテリーを充電してください。
- 周囲の温度が10〜30℃の範囲で、⚡/CHG(充電)ランプが消えるまで充電することをおすすめします。これ以外では効率の良い充電ができないことがあります。

バッテリーの上手な使いかた

- 周囲の温度が10℃未満になるとバッテリーの性能が低下するため、使える時間が短くなります。安心してより長い時間使うために、次のことをおすすめします。
  – バッテリーをポケットなどに入れてあたたかくしておき、撮影の直前、本機に取り付ける。
- 液晶パネルの使用や再生/早送り/早戻しなどを頻繁にすると、バッテリーの消耗が早くなります。
- 本機で撮影や再生をしていないときは、こまめに電源を切るようにしましょう。撮影スタンバイ状態や再生一時停止中でもバッテリーは消耗しています。
- 撮影には予定撮影時間の2〜3倍の予備バッテリーを準備して、事前にためし撮りをしましょう。
- バッテリーは防水構造ではありません。ぬらさないようにご注意ください。

バッテリーの残量表示について

- バッテリーの残量表示が充分なのに電源がすぐ切れる場合は、再び満充電してください。残量が正しく表示されます。ただし、長時間高温で使ったり、満充電で放置した場合や、使用回数が多いバッテリーは正しい表示に戻らない場合があります。撮影時間の目安として使ってください。
- バッテリー残量時間が約20分程度でも、ご使用状況や周囲の温度環境によってはバッテリー残量が残り少なくなったことを警告する マークが点滅することがあります。

バッテリーの保管方法について

- バッテリーを長期間使用しない場合でも、機能を維持するために1年に1回程度満充電にして本機で使い切ってください。本機からバッテリーを取りはずして、湿度の低い涼しい場所で保管してください。
- 本機でバッテリーを使い切るには、（ホーム）→（設定）→[一般設定]→[自動電源オフ]→[なし]に設定し、液晶画面を開いたまま電源が切れるまで撮影スタンバイにしてください（68ページ）。

バッテリーの寿命について

- バッテリーには寿命があります。使用回数を重ねたり、時間が経過するにつれバッテリーの容量は少しずつ低下します。使用できる時間が大幅に短くなった場合は、寿命と思われますので新しいものをご購入ください。
- 寿命は、保管方法、使用状況や環境、バッテリーパックごとに異なります。

x.v.Color（エックスブイ・カラー）について

- x.v.Colorとは、xvYCC規格の親しみやすい呼称としてソニーが提案している商標です。
- xvYCC規格とは、動画色空間の国際規格のひとつです。現行の放送などで使われている規格より広い色彩が表現できます。

本機の取り扱いについて

使用や保管場所について

使用中、保管中にかかわらず、次のような場所に置かないでください。

- 異常に高温、低温または多湿になる場所
  炎天下や熱器具の近くや、夏場の窓を閉め切った自動車内は特に高温になり、放置すると変形したり、故障したりすることがあります。
- 激しい振動や強力な磁気のある場所
  故障の原因になります。
- 強力な電波を出す場所や放射線のある場所
  正しく撮影できないことがあります。
- TV、ラジオやチューナーの近く
  雑音が入ることがあります。
- 砂地、砂浜などの砂ぼこりの多い場所
  砂がかかると故障の原因になるほか、修理できなくなることもあります。
- 液晶画面やレンズが太陽に向いたままとなる場所（窓際や室外など）
  液晶画面の内部を傷めます。

■ 長時間使用しないときは

- 本機の性能を維持するために定期的に電源を3分間入れ、撮影および再生を行ってください。
- バッテリーは使い切ってから保管してください。

結露について

結露とは、本機を寒い場所から急に暖かい場所へ持ち込んだときなどに、本体内に水滴が付くことで、故障の原因になります。

■ 結露が起きたときは

電源を入れずに、結露がなくなるまで（約1時間）放置してください。

■ 結露が起こりやすいのは

次のように、温度差のある場所へ移動したり、湿度の高い場所で使うときです。

- スキー場のゲレンデから暖房の効いた場所へ持ち込んだとき
- 冷房の効いた部屋や車内から暑い屋外へ持ち出したとき
- スコールや夏の夕立の後
- 温泉など高温多湿の場所

■ 結露を起こりにくくするために

本機を温度差の激しい場所へ持ち込むときは、ビニール袋に空気が入らないように入れて密封します。約1時間放置し、移動先の温度になじんでから取り出します。

液晶画面について

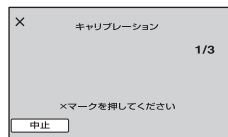
- 液晶画面を強く押さないでください。画面にムラが出たり、液晶画面の故障の原因になります。
- 寒い場所でお使いになると、画像が尾を引いて見えることがありますが、異常ではありません。
- 使用中に液晶画面のまわりが熱くなりますが、故障ではありません。

■ お手入れ

液晶画面に指紋やゴミが付いて汚れたときは、柔らかい布などを使ってきれいにすることをおすすめします。
別売りの液晶クリーニングキットを使うときは、クリーニングリキッドを直接液晶パネルにかけず、必ずクリーニングペーパーに染み込ませて使ってください。

■ タッチパネルの調節(キャリブレーション)について

タッチパネルのボタンを押したとき、反応するボタンの位置にずれが生じることがあります。
このような症状になったときは、次の操作を行ってください。電源は付属のACアダプターを使ってコンセントから取ることをおすすめします。

① 本機の電源を入れる。
② (ホーム)→ (設定)→[一般設定]→[キャリブレーション]をタッチする。

③ "メモリースティック PRO デュオ"の角のような先の細いものを使って、画面に表示される×マークを3回タッチする。
解除するには[中止]をタッチする。

正しい位置を押さなかった場合、やり直しになります。

ご注意

- キャリブレーションするときは、先のとがったものを使わないでください。液晶画面を傷つける場合があります。
- 液晶画面を反転させているときや、外側に向けて本体に閉じたときは、キャリブレーションできません。

本機表面のお手入れについて

- 汚れのひどいときは、水やぬるま湯を少し含ませた柔らかい布で軽く拭いた後、からぶきします。
- 本機の表面が変質したり塗装がはげたりすることがあるので、以下は避けてください。
  - シンナー、ベンジン、アルコール、化学ぞうきん、虫除け、殺虫剤、日焼け止めのような化学薬品類
  - 上記が手に付いたまま本機を扱う
  - ゴムやビニール製品との長時間接触

カメラレンズのお手入れと保管について

- レンズ面に指紋などが付いたときや、高温多湿の場所や海岸など塩の影響を受ける環境で使ったときは、必ず柔らかい布などでレンズの表面をきれいに拭いてください。
- 風通しの良い、ゴミやほこりの少ない場所に保管してください。

- カビの発生を防ぐために、上記のお手入れは定期的に行ってください。また本機を良好な状態で長期にわたって使っていただくためにも、月に1回程度、本機の電源を入れて操作することをおすすめします。

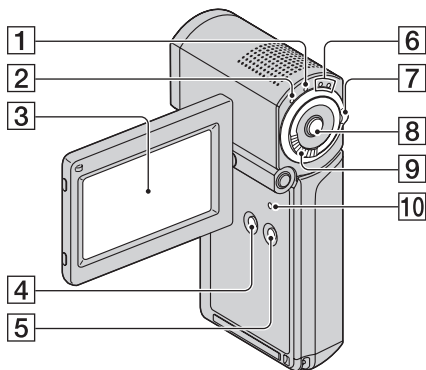
内蔵の充電式電池について

本機は日時や各種の設定を電源の入/切と関係なく保持するために、充電式電池を内蔵しています。充電式電池は本機を使っている限り常に充電されていますが、使う時間が短いと徐々に放電し、**3か月**近くまったく使わないと完全に放電してしまいます。充電してから使ってください。
ただし、充電式電池が充電されていない場合でも、日時を記録しないのであれば本機を使えます。

■ 充電方法

本機を付属のACアダプターを使ってコンセントにつなぐか、充電されたバッテリーを入れ、電源を切って24時間以上放置する。

各部のなまえ

(　)内は参照ページです。

1 QUICK ON(クイック オン)ランプ(29)

2 ϟ(フラッシュ)/CHG(充電)ランプ(15)

3 液晶画面/タッチパネル(18)

4 DISP/BATT INFO(画面表示/バッテリーインフォ)ボタン(16、18)

5 EASY(かんたん操作)ボタン(22)

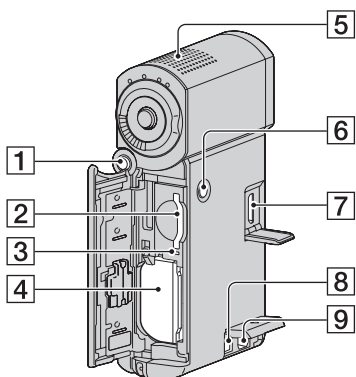
6 ▦(動画)/📷(静止画)ランプ(19)

7 ▦(動画)/📷(静止画)切り換えスイッチ(19)

8 START/STOP(スタート/ストップ)ボタン(27)

9 ズームレバー(28、35)

10 RESET(リセット)ボタン

日時を含めすべての設定が解除されます。

1 PHOTO（フォト）ボタン（27）

2 メモリースティック デュオ スロット（20）

3 アクセスランプ（20）

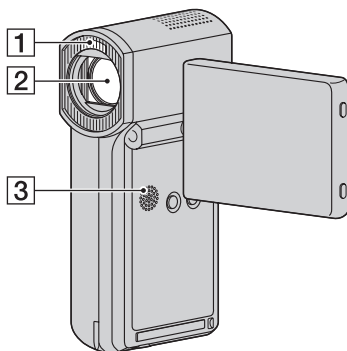
4 バッテリーパック（15）

5 内蔵マイク（28）

6 POWER（電源）ボタン（18）

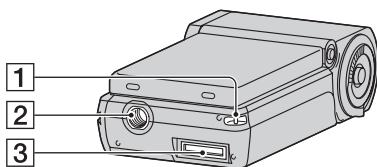
7 HDMI OUT端子（36）

8 DC IN端子（15）

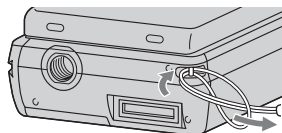
9 A/Vリモート端子（36）

1 フラッシュ発光部（62）

2 レンズ（カールツァイスレンズ搭載）（4）

3 スピーカー

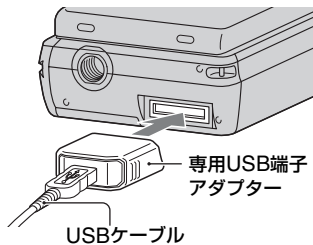
再生時の音声が聞けます。音量調節については、33ページをご覧ください。

1 リストストラップ取り付け部

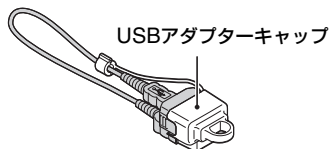
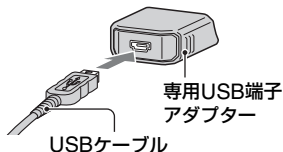
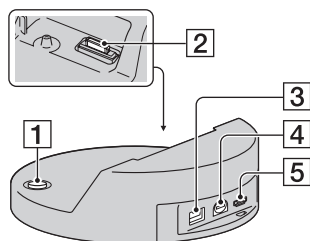
リストストラップ（付属）を取り付けます。

落下防止のため、リストストラップを取り付け、手をとおしてご使用ください。

2 三脚用ネジ穴

三脚（別売り、ネジの長さが5.5mm以下）を三脚用ネジ穴に取り付けます。

3 インターフェースコネクタ

本機とハンディカムステーション、または専用USB端子アダプターをつなぎます。専用USB端子アダプターを本機に取り付けると、ハンディカムステーションを使わずに、本機にUSBケーブルをつなげられます。

専用USB端子アダプター/USBアダプターキャップの取り付けについて

- 専用USB端子アダプターは用途にあわせてUSBケーブルを付け換えてご使用ください。
- カバンなどに入れて持ち運ぶときはUSBケーブルにUSBアダプターキャップを取り付けてください。
- 引っかけたり、強い衝撃を加えないようにご注意ください。破損するおそれがあります。

ハンディカムステーション

1 (ワンタッチ ディスク)ボタン(43)

2 インターフェースコネクタ

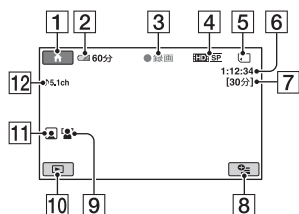
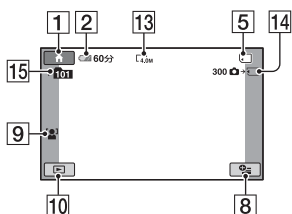
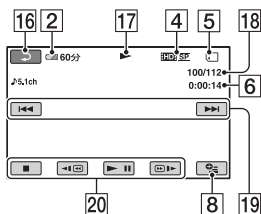
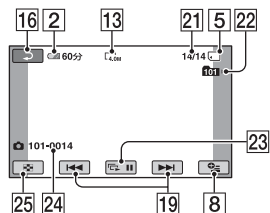
本機をハンディカムステーションに取り付けるときに、本機のインターフェースコネクタとつなぎます。

3 DC IN端子(15)

4 A/V OUT端子(36)

5 (USB)端子(52、53)

画面表示

動画を撮影中

静止画を撮影中

動画を再生中

静止画を再生中

1 ホームボタン（12）

2 バッテリー残量の目安（16）

3 撮影状態（[スタンバイ]/[●録画]）

4 記録画質（HD/SD）（55）と録画モード（FH/HQ/SP/LP）（60）

5 記録/再生メディア

6 カウンター（時：分：秒）

7 記録残量時間

8 オプションボタン（70）

9 顔検出（63）

10 画像再生ボタン（31）

11 フェイスインデックス設定（63）

12 5.1chサラウンド記録（28）

13 画像サイズ（63）

14 およその静止画撮影可能枚数とメディアアイコン、または静止画記録中

15 記録フォルダ

16 戻るボタン

17 再生表示

18 再生中の動画の番号/記録している動画の数

19 前の画像/次の画像ボタン（32）

20 動画操作ボタン（32）

21 再生中の静止画の番号/記録している静止画の数

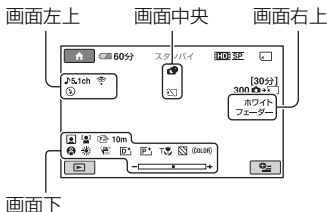
22 再生フォルダ

23 スライドショーボタン（36）

24 データファイル名

25 ビジュアルインデックス表示ボタン（31）

液晶画面の表示

撮影/再生中や、設定を変更したときに次の表示が出ます。

画面左上

表示	意味
♪5.1ch ♪2ch	オーディオモード(60)
	セルフタイマー(75)
	フラッシュ(62)/赤目軽減(62)
	マイク基準レベル低(75)
4:3	ワイド切換(60)
	内蔵ズームマイク(75)

画面中央

表示	意味
4.0M 3.0M 2.3M 1.9M 1.7M VGA	画像サイズ
	スライドショー設定(36)
	Color Slow Shutter (74)
	PictBridge接続中 (53)
	警告(83)

画面右上

表示	意味
ホワイトフェーダー ブラックフェーダー	フェーダー (75)
OFF	液晶バックライト切(18)

画面下

表示	意味
	ピクチャーエフェクト(75)
	デジタルエフェクト(75)
	手動フォーカス(72)
	シーンセレクション(73)
	ホワイトバランス(74)
OFF	手ブレ補正切(61)
	フレキシブルスポット測光(73)/カメラ明るさ(73)
T	テレマクロ(72)
	ゼブラ(61)
(COLOR)	X.V.COLOR(61)
	フェイスインデックス(63)
	顔検出(63)

ちょっと一言

- 表示内容や位置は目安であり、実際とは異なることがあります。

撮影時のデータについて

撮影時の日付時刻と撮影条件を示したカメラデータが、自動的に記録されます。これらのデータは、撮影中には表示されませんが、再生時に日付時刻データ/カメラデータとして確認できます(65ページ)。撮影時の日付時刻は他機などで表示させることができます([プレーヤ用日付記録]、62ページ)。

各部のなまえ・用語集・索引

用語集

■ サムネイル

多数の画像を一覧表示するために縮小された画像のことです。本機では、「ビジュアルインデックス」/「フィルムロールインデックス」/「フェイスインデックス」などがサムネイルを使った表示方法です。

■ ドルビーデジタル

米ドルビーラボラトリーズ社が開発した音声の符号化（圧縮方法）形式です。

■ ドルビーデジタル5.1クリエーター

米ドルビーラボラトリーズ社が開発した音声圧縮技術です。高音質を維持したまま、音声を効率的に圧縮して、5.1chサラウンド音声が作成できます。

■ フラグメンテーション

メディア内のファイルが断片化されることです。フラグメンテーションが起きると、画像が正しく保存できなくなることがあります。[メディア初期化]（56ページ）を行うと断片化が解消されます。

■ AVCHD規格

HD（ハイビジョン）信号をMPEG-4 AVC/H.264方式を用いて記録するハイビジョンデジタルビデオカメラの規格です。

■ JPEG（ジェイペグ）

Joint Photographic Experts Groupの略で、静止画データの圧縮（データ容量を小さくする）方法のことです。本機では、静止画をJPEG形式で記録します。

■ MPEG（エムペグ）

Moving Picture Experts Groupの略で、映像（動画）および音声の符号化（画像圧縮の方法）に関する規格の総称です。
MPEG1、MPEG2などの規格があります。本機ではSD（標準）画質の動画をMPEG2形式で記録します。

■ MPEG-4 AVC/H.264

ISO/IECとITU-Tの2つの国際標準化機関が2003年に共同で標準化した最新の画像符号化方式です。従来のMPEG-2に比べて2倍以上の圧縮効率を持ちます。本機では、ハイビジョン動画の画像符号化にこの方式を用いています。

■ VBR

Variable Bit Rate（可変ビットレート）の略で、撮影シーンに合わせてビットレート（一定時間あたりの記録データ量）を自動調節させる記録方式です。動きの速い映像は"メモリースティック PRO デュオ"の容量を多く使って鮮明な画像を記録するので、"メモリースティック PRO デュオ"の記録時間は短くなります。

■ 5.1chサラウンド音声（5.1チャンネル　サラウンド音声）

フロント側（左/右/センター）、リア側（左/右）の5chと、120Hz以下の低域を専門とするサブウーファー0.1chを加えた6つのスピーカーで音を再生します。

索引

ア行

カ行

サ行

タ行

ナ行

ハ行

マ行

ヤ行

ラ行

ワ行

アルファベット順

数字

各部のなまえ・用語集・索引

商標について

- “ハンディカム”、HANDYCAMはソニー株式会社の登録商標です。
- AVCHDおよびAVCHDロゴは、ソニー株式会社と松下電器産業株式会社の商標です。
- “Memory Stick”、“メモリースティック”、MEMORY STICK、“メモリースティック デュオ”、MEMORY STICK DUO、“メモリースティック PRO デュオ”、MEMORY STICK PRO DUO、“メモリースティック PRO-HG デュオ”、MEMORY STICK PRO-HG DUO、“マジックゲート”、MAGICGATE、“MagicGate Memory Stick”、“マジックゲート メモリースティック”、“MagicGate Memory Stick Duo”、“マジックゲート メモリースティック デュオ”はソニー株式会社の商標または登録商標です。
- InfoLITHIUM（インフォリチウム）はソニー株式会社の商標です。
- “x.v.Color”はソニー株式会社の商標です。
- “BIONZ”はソニー株式会社の商標です。
- ブラビアはソニー株式会社の登録商標です。
- “VAIO”はソニー株式会社の商標です。
- 「プレイステーション 3」は株式会社ソニー・コンピュータエンタテイメントの商品です。また「プレイステーション」は同社の登録商標または商標です。
- Dolby、ドルビー、およびダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Media、Windows Vista、DirectXはMicrosoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Macintosh、Mac OSはApple Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。
- Intel、Intel Core、Pentiumは、アメリカ合衆国およびその他の国におけるインテル コーポレーションまたはその子会社の商標または登録商標です。
- Adobe、Adobe logo、Adobe AcrobatはAdobe Systems Incorporatedの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

その他の各社名および各商品名は各社の登録商標または商標です。なお、本文中では、TM、®マークは明記していません。

ライセンスに関する注意

個人的使用以外の目的で、MPEG-2規格に合致した本製品をパッケージメディア向けビデオ情報をエンコードするために使用する場合、MPEG-2 PATENT PORTFOLIOの特許に関するライセンスを取得する必要があります。尚、当該ライセンスは、MPEG LA. L.L.C.,（住所：250 STEELE STREET, SUITE 300, DENVER, COLORADO 80206）より取得可能です。

本製品は、MPEG LA, LLC.がライセンス活動を行っているAVC PATENT PORTFOLIO LICENSEの下、次の用途に限りライセンスされています：

(i) 消費者が個人的、非営利の使用目的で、MPEG-4 Visual規格に合致したビデオ信号（以下、AVC VIDEOといいます）にエンコードすること。

(ii) AVC Video（消費者が個人的に非営利目的でエンコードしたもの、若しくはMPEG LAよりライセンスを取得したプロバイダーがエンコードしたものに限られます）をデコードすること。なお、その他の用途に関してはライセンスされていません。プロモーション、商業的に利用することに関する詳細な情報につきましては、MPEG LA, LLC.のホームページをご参照ください。

本製品には、弊社がその著作権者とのライセンス契約に基づき使用しているソフトウエアである「C Library」、「Expat」、「zlib」、「libjpeg」が搭載されております。当該ソフトウエアの著作権者様の要求に基づき、弊社はこれらの内容をお客様に通知する義務があります。

ライセンス内容に関しては、同梱CD-ROMに記載されていますので、以下に示す方法にしたがって、内容をご一読くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

CD-ROMの「License」フォルダにある「license1.pdf」をご覧ください。「C Library」、「Expat」、「zlib」、「libjpeg」の記載（英文）が収録されています。

GNU GPL/LGPL適用ソフトウエアに関するお知らせ

本製品には、以下のGNU General Public License(以下「GPL」とします)またはGNU Lesser General Public License(以下「LGPL」とします)の適用を受けるソフトウエアが含まれております。お客様は添付のGPL/LGPLの条件に従いこれらのソフトウエアのソースコードの入手、改変、再配布の権利があることをお知らせいたします。

ソースコードは、Webで提供しております。

ダウンロードする際には、以下のURLにアクセスし、モデル名DCR-DVD810をお選びください。

http://www.sony.net/Products/Linux/

なお、ソースコードの中身についてのお問い合わせはご遠慮ください。

ライセンス内容に関しては、同梱CD-ROMに記載されていますので、以下に示す方法にしたがって、内容をご一読くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

CD-ROMの「License」フォルダにある「license2.pdf」をご覧ください。「GPL」、「LGPL」の記載(英文)が収録されています。

PDFをご覧になるにはAdobe Readerが必要です。パソコンにインストールされていない場合には下記のホームページからダウンロードすることができます。

http://www.adobe.com/

■ 製品についてのサポートのご案内

ホームページで調べる

ハンディカムの最新サポート情報
(製品に関するQ&A、パソコンとの接続方法など)
http://www.sony.co.jp/cam/support/

ハンディカムホームページ
http://www.sony.co.jp/cam
ハンディカムの最新情報、撮影テクニック、アクセサリーなどに関する情報を掲載しています。

メモリースティック対応表
http://www.sony.co.jp/mstaiou
使用可能な"メモリースティック"を確認することができます。

付属ソフトウェア(Picture Motion Browser)のサポート情報
http://www.sony.co.jp/support-disoft/

電話で問い合わせる(ソニーの相談窓口)

●使い方相談窓口
フリーダイヤル 0120-333-020
携帯・PHS・一部のIP電話 0466-31-2511
上記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「400」+「#」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

●修理相談窓口
フリーダイヤル 0120-222-330
携帯・PHS・一部のIP電話 0466-31-2531
上記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「400」+「#」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。
ホームページ　http://www.sony.co.jp/di-repair/
FAX(共通):0120-333-389
受付時間:月～金 9:00 ～ 20:00　土・日・祝日 9:00 ～ 17:00

■ カスタマー登録のご案内

カスタマー登録していただくと、安心、便利な各種サポートが受けられます。
詳しくは、同梱のチラシ「カスタマー登録のご案内」もしくはご登録WEBサイトをご覧ください。
http://www.sony.co.jp/di-usbregi/

登録後は登録者専用お問い合わせ窓口をご利用いただけます。
詳しくは下記のURLをご覧ください。
http://www.sony.co.jp/cam/contact/

ソニー株式会社　〒108-0075　東京都港区港南1-7-1　　http://www.sony.co.jp/